

3.3.3 マンジョカ

1) 生産

表211 マンジョカ：81/82農年生産実績

順位	州 別	面積 1000ha	生産量1000トン	単収 kg/ha	%
1	バ イ ア	358.0	4,439.2	12,400	18.5
2	マ ラ ニ ヨ ン	461.0	3,478.4	7,547	114.5
3	リオ・グランデ ・ド・スール	138.0	1,685.4	12,227	7.0
4	バ ラ ー	131.1	1,675.4	12,779	7.0
5	ベルナンブコ	175.0	1,666.2	9,531	7.0
6	ミナス・ジェライス	102.0	1,371.0	13,436	6.0
7	バ ラ ナ	62.5	1,219.0	19,500	5.1
8	サンタ・カタリーナ	72.0	1,152.0	16,000	5.0
9	ピ ア ウ イ	117.4	1,049.0	8,935	4.4
10	アマゾーナス	72.0	861.0	12,000	3.6
11	サン・パウロ	35.0	728.0	20,920	3.0
12	セ ア ラ	75.0	600.0	8,000	2.5
13	リオ・グランデ ・ド・ノルテ	58.0	536.6	9,307	2.2
14	セルジッベ	40.0	533.6	13,399	2.2
15	パライーバ	60.5	498.4	8,239	2.1
16	エスピリト・サント	27.6	492.5	17,863	2.0
17	ロンドニナ	23.0	396.1	17,397	1.6
18	マツト・グロッソ	21.0	313.0	15,000	1.3
19	ゴ ヤ ス	21.0	295.2	14,100	1.2
20	マツト・グロッソ ・ド・スール	18.0	272.5	15,179	1.1
21	ア ク レ	17.0	269.1	15,995	1.1
22	アラゴアス	22.0	221.0	10,194	0.9
23	リオ・デ・ジャ ネイロ	13.1	200.0	15,277	0.8
24	ア マ バ ー	5.1	45.3	8,927	0.2
	そ の 他	0.7	41.1	-	-
	全 国 計	2,126.0	24,039.0	11,308	100.0

出所：IBGE

81/82農年におけるマンジョカの収穫面積は前年を2%上回る212万ヘクタールであったためその分の増収が予定されていたが栽培期間中の天候に恵まれず、とくに東北地方では優良な苗が不足し、生産性に大きな影響があったため生産量は逆に前年を3%下回る結果に終わった。パラナ州やサンパウロ州が1ヘクタール当たり約20トンの収穫を行ったのに対し全国平均は約11トンで他州の生産性がいかに低かったかを示している。

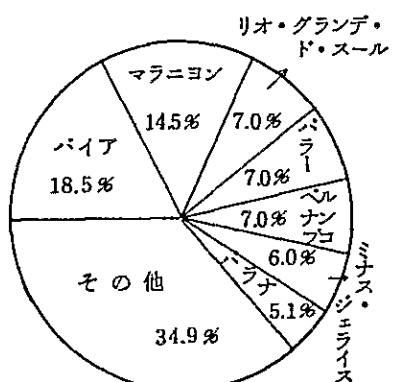
表212 マンジョカ：生産推移

1,000トン

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
パ イ ア	4,425	4,704	4,880	5,600	4,439
マ ラ ニ ヨ ン	2,754	3,065	3,280	3,275	3,478
リオ・グランデ・ド・スール	2,498	2,496	1,719	1,700	1,685
パ ラ ー	1,203	1,446	1,239	1,576	1,675
ベルナンブコ	2,000	1,881	1,509	1,442	1,666
ミナス・ジェライス	1,864	1,843	1,943	1,970	1,371
そ の 他	10,715	9,527	9,475	9,547	9,725
全 国 計	25,459	24,962	24,045	25,050	24,039

面積 1,000ha	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
	2,149	2,111	2,046	2,096	2,126

出所：IBGE



81/82 農年生産分布

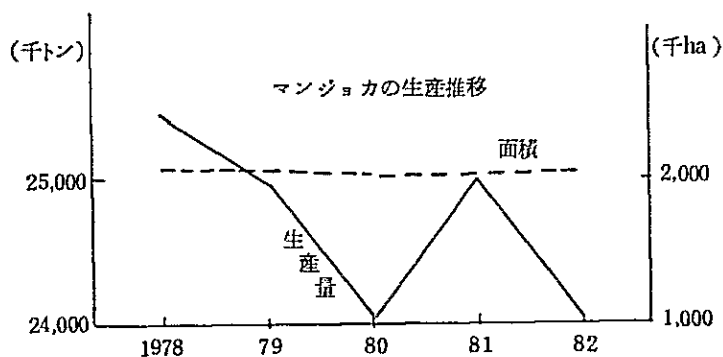


表213 マンジョカ：単収推移

kg/ha

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
パ イ ア	15,000	16,000	16,000	16,000	12,400
マ ラ ニ ヨ ン	8,595	8,881	8,904	8,005	7,547
リオ・グランデ・ド・スール	11,906	10,810	11,173	12,338	12,227
パ ラ ー	10,714	12,999	12,159	12,339	12,779
ベルナンブコ	10,000	10,404	8,400	8,670	9,531
ミナス・ジェライス	15,077	14,972	15,106	14,908	13,436

出所：IBGE

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

世界のマンジョカ生産は開発途上国に集中しており、中でもブラジルは最大の生産国であるが輸出余力を持たぬため少量の輸出に止まり事実上世界の市場に参加していない。世界のマンジョカ市場は非常に狭少でタイ及びインドネシア、中国を輸出国とし EC 諸国を輸入市場とする単純な構造である。

表214 マンジョカ：世界の貿易 1000トン

国 別	1976-78	1979	1980	1981
輸 出 国				
タ イ	12242	12071	12250	14900
インドネシア	564	1931	1090	1200
中 国	37	250	950	1050
タンザニア	46	182	156	50
マ レ ー	125	47	47	40
ブ ラ ジ ル	9	49	30	20
そ の 他				
合 計	13338	14612	14662	17355
輸 入 国				
E C 諸 国	12058	13740	12579	15100
東 独 及 ソ 連	-	60	1100	1200
日 本	494	414	399	400
米 国	193	164	139	125
シンガポール	63	50	62	60
そ の 他				
合 計	13110	14707	14540	17357

出所：FAO

表215 マンジョカ：世界の生産量 100万トン

国 別	1976-78	1979	1980	1981	1982
ラテン・アメリカ					
ブ ラ ジ ル	25.6	24.9	24.6	24.5	24.3
コロンビア	20	2.1	2.6	2.7	2.8
そ の 他	3.4	4.3	4.4	4.4	4.5
小 計	31.6	31.3	31.6	31.6	31.6
アフリカ					
ザ イ レ	11.9	12.0	12.5	12.8	13.1
ナイジェリア	10.6	10.5	11.0	11.3	11.5
タンザニア	4.3	4.6	4.6	4.6	4.6
モザンビキ	2.5	2.7	2.8	2.8	2.9
ガ ー ナ	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3

国 別	1976-78	1979	1980	1981	1982
ア ン ゴ ラ	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1
そ の 他	10.7	11.8	11.8	12.3	12.1
小 計	43.9	45.6	46.9	48.1	48.6
ア ジ ア					
タ イ	13.6	12.1	13.5	16.0	12.5
イ ン ドネシア	12.5	13.8	13.5	13.4	13.5
イ ン ド	6.5	6.1	6.0	6.0	6.5
中 国	2.5	2.7	3.2	3.5	3.5
そ の 他	5.7	7.2	7.2	7.0	6.5
小 計	40.8	41.9	43.5	45.9	42.5
合 計	116.4	118.9	122.0	125.6	122.7

出所：FAO

FAOの推定によると1982年度におけるマンジョカ(根)の生産量は122.7百万トンで1981年の生産量を約2%減少した量であった。世界の主要生産国の中ではタイが前年の16百万トンより82年に12.5百万トンへと生産を増したのが世界生産減少の最大の原因となっているがこれはタイにおける生産者受取価格が低く他の有利作物に転向したものが多かったためマンジョカの栽培面積が減少したのを理由としている。

ブラジルの輸出は澱粉として主に米国を中心とする市場に対し3187.7トンの輸出が行なわれた。また同年中にマンジョカ粉として1,007.1トンがポルトガル、英国他に輸出されている。これらマンジョカ、ペレット及び粉の輸出による外貨収入は1.5百万ドル程度にすぎない。

この様に金額面ではほとんど輸出総額に影響のない輸出ではあるが他の輸出項目と比較して次のような利点が見とめられる。

- イ) 栽培面では家族労働が中心となっており、また工業加工面では小規模の工場が圧倒的に多く労働力の使用比率が高い。
- ロ) 特定の土壌や気象条件に限定されず、また乾燥に強く虫害の少ない作物である。更に手入れ方法が簡単である。
- ハ) 小麦粉の代用品として小麦粉に混入され、パン類や麺類の製造に用いられている。ブラジルの貿易収支に大きな比重を占めている小麦輸入の軽減を図るためにも重要な作物である。
- ニ) 石油の代替品としてのアルコール製造原料となる作物である。とくに砂糖キビと併用し砂糖キビの端境期に用いる原料として推奨されている。

世界の輸入市場であるEC諸国では1982~86年にかけて各生産国よりのマンジョカ・ペレット輸入割当てを次表の通り設定している。

表 216 EC国のマンジョカ輸入割当 1,000トン

輸入先国	1982	1983	1984	1985	1986
タ イ	5,600	5,200	5,000	4,500	4,500
イ ン ドネシア	500	500	750	800	800
ブラジル/中国	200	200	350	350	350

出所：CENTRO INTERNACIONAL DE AGRICULTURA TROPICAL/CFP

上表にみられる通り EC 圏の輸入計画としてはタイよりの輸入を次第に減少させ、ブラジル/中国の輸入を増加する方針であり、ブラジルのマンジョカ輸出にとっては良好な傾向といえる。

ブラジルよりの輸出はマンジョカ粉及び澱粉の形で行なわれているが、金額共に大きなものではない。

表 217 マンジョカ粉の輸出 1982年

輸出先国	重量 トン	金額 1000ドル
ポルトガル	495.3	138.2
英国	237.6	130.4
ウルグァイ	268.8	67.0
その他	45.3	20.9
計	1,047.1	356.5

出所: CACEX 関税番号 11040302

表 218 マンジョカ澱粉の輸出 1982年

輸出先国	重量 トン	金額 1000ドル
米 国	2,691.6	908.1
ウルグァイ	270.0	80.1
コロンビア	200.0	60.0
その他	26.0	8.8
計	3,187.6	1,057.0

出所: CACEX 関税番号 11080203

ハ) 価 格

1982年を通じマンジョカ(根)の価格は中南部地方において工場渡し CR5.50~6.50/kgで最低保証価格をやや上廻る水準であった。東北地方の場合には中南部地方よりも条件がよく CR7.50~9.50/kgで取引が行なわれた。

サンパウロ及びリオ・デ・ジャネイロ両市のマンジョカ粉卸し価格は年間を通じて安定し年末にかけてやや上昇する傾向であった。

中央-南部地方の中、とくにサンパウロ州及びパラナ州では降雨のため収穫が一時的に中止されたり、縮小されたりしたため澱粉含有量が減り、したがって同じ重量の澱粉を製造するのにより多くの原料を要するようになった。

1982年の末サンパウロの卸し市場価格は CR2300.00/50kgで年間の平均を31.4%上廻った。

これに対し東北地方では50kg入1俵がCR1,870.00~CR4,000.00に達した。この値上りは長期乾燥によって根の生産が落ちたためであった。

表 219 マンジョカ:生産者受取価格 CR/トン

月別	1980	1981	1982
1	1,295.30		5,953.70
2	1,286.20	5,245.00	6,344.10
3	1,844.40	5,926.10	6,278.00
4	1,997.60	6,457.40	6,287.70
5	2,656.80	5,023.20	6,507.80
6	3,111.50	5,392.60	6,006.60
7	3,128.10	3,792.30	6,093.60
8	3,503.80	3,852.20	6,210.60
9	3,274.20	4,612.20	4,362.59
10	3,706.20	5,058.00	6,049.10
11	4,003.40	5,877.20	5,875.78
12	5,588.20	6,144.30	6,355.20

出所: IEA サンパウロ州 工業原料用

表 220 マンジョカ粉の価格 1982年卸価格 CR/50kg

月別	サンパウロ	リオ・デ・ ジャネイロ	レシーフェ	フォルタレーザ
1	1,690	1,820	3,350	1,870
4	1,750	1,840	3,800	1,940
7	1,750	1,800	3,850	2,130
10	1,950	1,740	4,000	1,890
12	2,300	2,100	4,000	1,920

出所: CFP

ニ) 生産コスト

サンパウロ州農務局農業経済研究所が発表した82/83年及び83/84のコスト予想は次表の通りである。

表221 マンジョカ：生産コスト 1haあたり25トン収穫の場合

サンパウロ州アシス地方

コ ス ト		81/82		82/83	
A 作業コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
a)		CR	CR	CR	CR
1) 一般労働力	35.77	1,023	36,593	2,365	84,596
2) 家 畜	3.46	121	418	205	709
3) 家畜飼立て	0.69	22	15	42	29
4) 家畜中耕	2.58	22	58	42	108
5) 運 搬	0.19	45	8	111	21
小 計	—	—	37,092	—	85,464
b) 請 負 費					
1) 耕 起			4,500		12,500
2) 砕 土			2,250		5,500
小 計	—	—	43,842	—	103,464
B 生産資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 石 灰	2.07 T	4,700/T	9,729	8,800/T	18,216
2) 杭	5.00 M3	1,000/M3	5,000	2,100/M3	10,500
3) 殺 蟻 剤	0.51 KG	206/KG	105	530/KG	270
小 計	—	—	14,834	—	28,986
C 間接コスト			58,676		132,450
1) 機械償却費			278		567
2) 銀行利息生産費			15,843		77,483
・ 固定投資			46		219
合 計	—	—	74,843	—	210,719

出所：IEA

3.3.4 サイザル

1) 生産

表222 サイザル麻：81/83農年生産実績

順位	州別	面積1000ha	生産量1000トン	単収 kg/ha	%
1	バイヤ	187.5	150.0	800	60.1
2	パラíba	112.5	79.0	702	32.0
3	リオ・グランデ ・ド・ノルテ	34.5	14.1	409	5.6
4	ベルナンプコ	6.8	6.0	860	2.8
	その他	0.3	0.3	1,000	-
	全国計	341.6	249.4	730	100.0

出所：IBGE

サイザル麻は乾燥につよい永年作物であり、海外にも広い市場を持つ作物として乾燥地帯の東北地方では極めて重要な作物となっている。東北地方の中ではバイヤ州とパラíba州の生産が大きくこの両州で全国生産の90%以上が占められている。その生産量は生産面積の大小よりもむしろ市場価格に左右されて変動する。つまり、市場価格が悪いと生産者は収穫を行わず放置するためである。この作物は永年作物であるだけでなく、年中収穫出来る点も大きな特徴である。

81/82農年の生産量は約25万トンでこの60%にあたる15万トンがバイヤ州、約8万トンをあげており東北諸州がこれに続いている。上述の通りサイザル麻は乾燥に強い作物ではあるが81/82農年には極度の乾燥に見舞われたため主要生産地帯における単収の減少が目立った。

表223 サイザル麻：生産推移

単位1,000トン

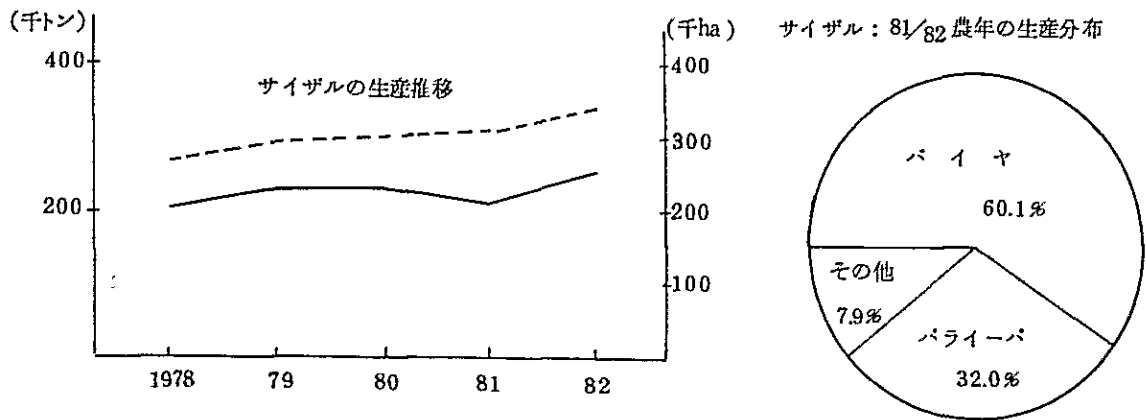
州別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
バイヤ	75	100	133	138	150
パラíba	100	103	81	84	79
その他	27	25	21		
全国計	202	228	235	215	249
面積 1000ha	270	288	297	312	342

表224 サイザル麻：単収推移

kg/ha

州別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
バイヤ	600	714	950	894	800
パラíba	994	986	707	735	702

出所：IBGE



ロ) 市場及び価格

サイザルの世界的な市場である米国では飼料用乾草の記録的な収穫によりサイザル糸の需要が高まったため、81/82農年の市場は全般に満足な状態にあった。他方ヨーロッパにおける需要は前年比して若干の後退をみたがこれに加えてポリプロピレン繊維をベースとした合成糸との競合や、EC諸国がとった関税障壁のため、サイザル糸には良好な市場とはいえなかった。

ブラジル産サイザル繊維による糸とロープの輸出統計によると前年に比して大巾な減少が観察された。しかしこの輸出減少は輸入国側とくに米国及びカナダのストックが増大するのを避けるため82年中の輸出を押立て83年に繰越した貿易上の政策によるもので輸出能力が落ちたための現象ではない。また輸出市場の中ヨーロッパ市場についてはブラジルを始めとする北ヨーロッパ圏よりの輸入に対して差別的な関税(12.8%)があるほか、自国産業に対して大巾な補助が行なわれているため輸出は困難を極め、ヨーロッパ圏がブラジルに割当てた量の75%程度の輸出に止まっている。

82年度のサイザル糸の輸出面では従来実績がなかった社会主義国への輸出が開始されているが、これは同圏内の生産国ポーランドの内務によってロープ繊維の生産が落ちたのを理由としている。

82年より83年にかけてのサイザルの輸出分野では上述の輸出政策のほかメキシコやポルトガルと共に米国に対する取引条件設定のための協定を行っている。これは取引価格の基準を1梱包(18,144kg)あたりUS\$17.75(82年9月)とし、毎月US\$0.25づつ値上げしていこうとするものであったが、年末には実行不可能となって破棄されたため価格はUS\$15.50~16.00に落ち以後回復の兆をみていない。さらに82年の8月にメキシコ、83年の2月にブラジルでそれぞれ行なわれたマクシ切下げによってサイザル価格上昇への期待は事実上消えたが、他方このマクシ切下げによってブラジル製品の海外における競争力強化の影響がサイザル部門にも現われることが期待されている。

一方サイザル粗繊維の方は、基本的にヨーロッパを市場としておりアフリカ製品と競合している。ヨーロッパ市場における粗繊維の需要は年間150~180千トンであるがブラジル製品は80年にその50%を供給したあと82年にはこの比率を20%へと減少した。これも糸の場合と同様に80年以降観察された相場の下落を防ぐための貿易戦略として一方的に供給を押えたものであったが、この戦略はあまり効果的ではなく、ヨーロッパ市場への輸出が一時的に中断し、その間アフリカ製品の進出を許したほか、ブラジルでのストックが82/83農年に放出される場合、結局価格にネガティブな影響を与えることが懸念された。

この様な問題を軽減するためCFP(生産融資公社)は国内のセルローズは業界に対し12ヶ月間に7万トン

の繊維を引取るよう交渉を行っている。

表225 サイザル・ロープの輸出実績 (重量) トン

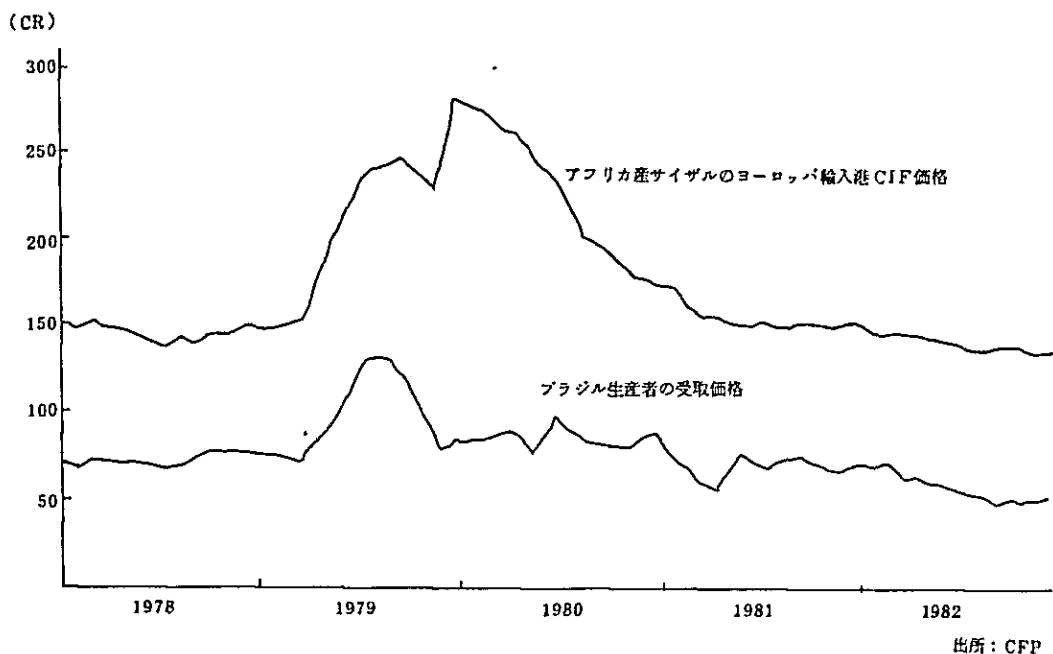
年度別	米 国	カナダ	EC諸国	社会主義圏	その他	計
1980	51,147	8,355	10,829	-	6,235	76,566
81	51,743	10,177	10,560	-	5,704	81,075
82	28,482	7,394	10,512	5,765	4,508	56,661
(金額) 1,000ドル						
1980	48,019	7,986	9,000	-	4,930	69,935
81	43,269	8,491	7,613	-	4,596	66,162
82	28,482	7,190	7,191	4,974	3,492	48,031
(単価) ドル						
1980	0.958	0.956	0.831		0.791	0.913
81	0.836	0.834	0.721		0.806	0.816
82	0.884	0.972	0.684	0.863	0.775	0.848

出所：CACEX/CFP

表226 サイザル粗繊維の輸出実績 (重量) トン

年度別	EC諸国	ポルトガル	社会主義圏	米 国	その他	計
1980	28,127	23,830	27,362	1,260	16,463	97,042
81	21,861	7,755	23,765	710	11,600	65,691
82	8,354	96	21,231	500	6,546	36,727
(金額) 1,000ドル						
1980	16,371	14,285	16,644	701	10,039	58,040
81	21,861	7,755	23,765	710	11,600	65,691
82	3,782	38	10,377	208	2,586	16,991
(単価) ドル						
1980	0.582	0.599	0.608	0.556	0.610	0.598
81	0.512	0.517	0.535	0.462	0.521	0.522
82	0.453	0.393	0.489	0.416	0.395	0.463

出所：CACEX/CFP



3.3.5 ジュート及びマルバ

イ) 生産

表 227 ジュート：81/82 農年生産実績（乾燥繊維）

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量1000トン	単収 kg/ha	%
1	アマゾーナス	100	10.3	1,041	72.5
2	パラ	5.0	3.9	832	27.5
	全国計	150	14.2	974	100.0

出所：IBGE

表 228 マルバ：81/82 農年生産実績（乾燥繊維）

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量1000トン	単収 kg/ha	%
1	アマゾーナス	11.0	19.5	1,800	35.8
2	パラ	36.0	28.8	800	53.7
3	マラニオン	6.0	6.1	1,030	10.5
	全国計	53.0	54.4	1,031	100.0

出所：IBGE

1982年度におけるジュート及びマルバの生産量は68.6千トンで前年を13%下廻っており過去5ヶ年間の最低の生産であった。ジュートの場合生産を落した最大の理由は前年度における生産物価格の下落による生産意欲の減退とこれに伴う栽培面積の減少と、栽培期間中の天候不順によるものであり、とくにアマゾン川の洪水による被害は単収にいちじるしい影響をあたえた。またマルバの方は一般に高地に栽培されるのでジュートの場合にみられた洪水による被害はなかったが市場価格が低く、綿作に転向するものが多く出たため生産の減少を促した。

表229 ジュート：生産推移

1,000トン

州別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
アマゾンナス	10	19	17	22	10
パラ	7	9	9	14	4
全国計	17	28	26	36	14
面積1000ha	17	25	24	39	15

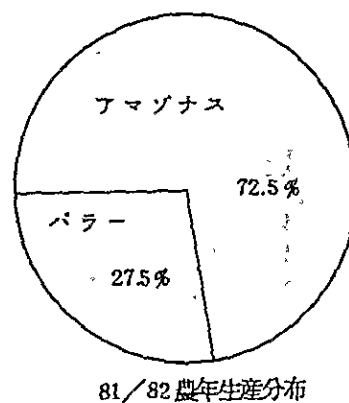
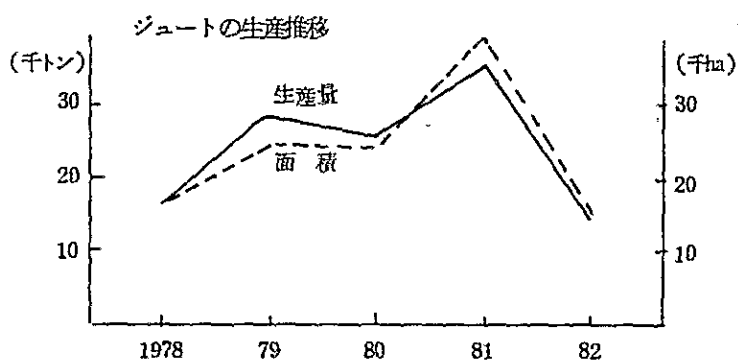


表230 マルバ：生産推移

1,000トン

州別	79/78	78/79	79/80	80/81	81/82
アマゾンナス	27	21	12	26	19
パラ	28	26	25	29	29
マラニオン	5	5	5	3	6
全国計	60	51	42	42	54
面積 1,000ha	53	47	40	56	53

出所：IBGE

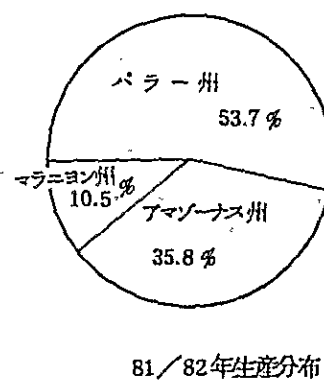
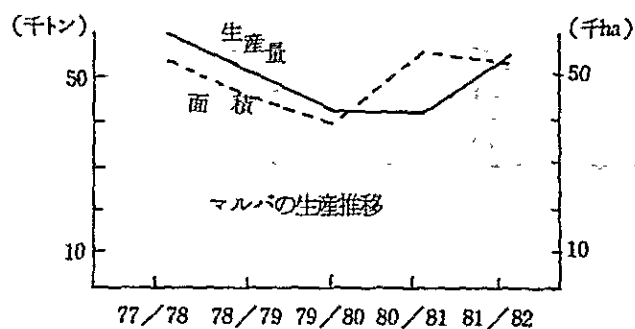


表231 ジュート：単収推移

kg/ha

州別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
アマゾンナス	1,000	1,082	1,000	1,000	1,041
パラ	1,059	1,264	1,206	1,194	832

出所：IBGE

表232 マルパ：単収推移

州 別	kg/ha				
	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
アマゾナス	1,500	1,500	1,500	1,500	1,800
パラ	986	968	942	850	800
マラニョン	800	800	850	678	1,030

出所：IBGE

ロ) 市場及び価格

低調な生産に加え流通面でも、洪水のために収穫を急いだことや穀物用袋の需要が復活せず工場側が生産された原料の全部を買取る資金を持たず政府の最低保証価格以下で買取る状態にあったため、生産融資公社（旧生産融資委員会）は特別買上げ措置をとり生産地帯での買付けを行った。この様な当局の対策にかかわらずすでに仲間商人より生産費の融資を受けていた生産者は、その精算のためにこれらの中間業者に低価格で生産物の引渡しを行なわざるを得ず政府の生産者擁護のための買付けは予想通りに運ばなかった。

この様に生産物の販売を不利とした他の原因は、アマゾン地方の組合が例年行っているジュートやマルパ繊維の買付けを行なわなかったためであった。これらの組合は年々繊維原料の買付けを増やしていたが82年には政府ストックが増大していたこと、工場よりの供給が短期間における市場の需要を満たしていたことなどから在庫形成は不利とみて買付けを中止する決定をしたためであった。

以上の状況の中ですすめられた生産と販売の結果、81/82農年におけるジュート及びマルパ繊維の供給量は1138千トンであった。

表233 ジュート及びマルパ繊維の需給 トン

項 目	1981	1982
期 首 在 庫	24,800	57,100
生 産 量	93,580	56,700
輸 入	29,700	-
供 給 量	158,080	113,800
工業消費量推定	90,980	82,800
期 末 在 庫	57,100	31,600

出所：CFP

海外市場に対しては81年に政府が行った原料ストックの販売を外貨獲得に向けてため工業部門と共にジュート及びマルパ加工品としての輸出計画がすすめられた。同計画では海外市場での販売を容易とするため輸出価格をアジア諸国の価格と同水準においたが、そのために生ずる国内コストとの調整のため特別の恩典を与えるとともに次の措置がとられた。イ) 袋工場の遊休能力を最少限に止める。ロ) 政府ストックのレベルを落して貯蔵経費を減少し生産者受取価格の増大を図る。

ジュート加工品の輸出については1981年に比して輸出量の増大がみられた。海外の市場としてはアルゼンチンがもっとも大きく同国では伝統的にブラジル産品を集中的に購入する方法を継続している。地理的に近く、他国より輸入するよりも安く購入出来るためである。ジュート及びマルパの繊維及び加工品の輸出実績は次表の通りである。

表234 ジュート及びマルバの輸出

トン

項目	1978	1979	1980	1981	1981
織 維					
粗 織 維	23.1	22.1	-	20.0	7.5
調 整 品	-	90.0	-	110.0	10.3
織 維 く づ	992.3	195.3	177.3	98.8	209.4
糸	5.5	0.3	4.7	86.7	124.9
袋	506.5	1,144.0	952.8	473.6	239.1
布	4,127.1	17,168.4	6,168.8	2,682.8	8,907.2
計	5,654.4	18,620.1	7,303.6	3,471.9	9,498.4

出所：CFP

次期農年についてはアマゾン地方の生産が平常化しパラナ州ブラガンチーナ地方の収穫も特に支障がないので81/82農年を上廻る76千トン前後に落ちつくものと推定されている。市場については穀物の国内生産が増加すると袋の需要が増加しその材料となるジュート、マルバの繊維需要が発生することになる。したがって次期の需要は穀物生産の規模を知るまでは予測は困難である。

3.3.6 煙 草 葉

表235 煙草葉：81/82農年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量1000トン	単収 kg/ha	%
1	リオ・グランデ・ド・スール	98.4	153.0	1,553	36.3
2	サンタ・カタリーナ	71.4	132.1	1,851	31.3
3	アラゴアス	50.0	47.0	943	11.1
4	バイア	52.0	39.0	750	9.2
5	パラナ	17.5	30.0	1,713	7.1
6	ミナス・ジェライス	10.5	8.0	729	2.0
7	セルジッペ	8.0	6.2	807	1.5
8	ゴヤス	2.0	1.2	611	0.3
9	パラíba	1.0	1.0	899	0.2
	そ の 他	8.2	4.0		1.0
	全 国 計	319.0	421.5	1,323	100.0

出所：IBGE

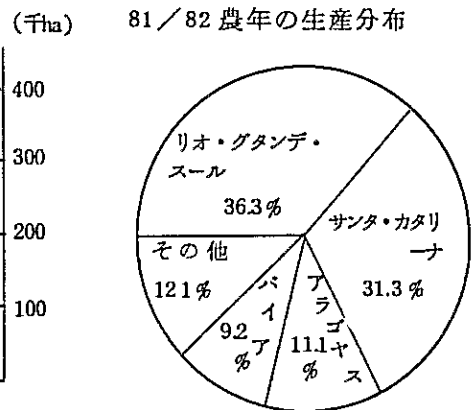
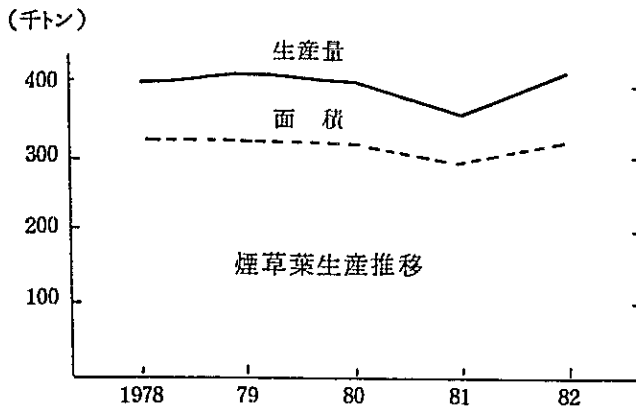


表236 煙草葉：生産推移

州 別	1,000 トン				
	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
リオ・グランド・ド・スール	141	143	149	138	153
サンタ・カタリーナ	130	140	127	100	132
アラゴアス	29	32	27	28	47
パイア	50	36	37	45	39
パラナ	25	44	45	29	30
その他	30	27	22	22	
全 国 計	405	422	407	362	421
面積 1,00ha	328	326	324	291	319

表237 煙草葉：単収推移

州 別	kg/ha				
	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
リオ・グランド・ド・スール	1,350	1,328	1,377	1,387	1,323
サンタ・カタリーナ	1,439	1,835	1,662	1,638	1,851
アラゴアス	980	900	850	756	943
パイア	960	760	800	823	750
パラナ	1,409	1,732	1,740	1,756	1,713

出所：IBGE

表238 煙草葉の輸出推移

年 度	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1978	119.4	249.3
79	141.6	296.5
80	144.8	295.3
81	150.0	368.7
82	166.9	477.0

出所：CACEX

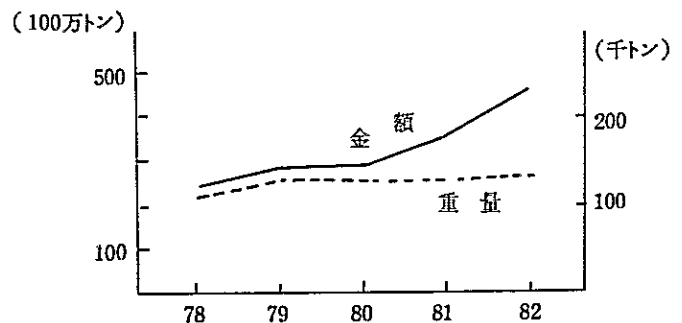


表239 煙草葉の輸出(金額)

100万ドル

輸出先国	製 品	く づ	そ の 他	計
米 国	139.2	2.8	13.5	155.5
英 国	52.8	2.7	14.1	69.6
西 独	30.3	0.6	16.9	47.8
オランダ	10.0	0.2	21.0	32.2
イタリ-	-	-	22.0	22.0
スベ-ン	-	-	16.0	6.0
ベルギ-	4.2	0.1	5.0	9.3
デンマ-ク	5.4	0.1	3.6	9.1
アルジェリア	-	-	8.2	8.2
フ ラ ン ス	2.9	0.2	5.0	8.1
中 国	0.9	-	5.4	6.3
日 本	1.0	-	4.1	5.2
そ の 他	43.1	1.3	36.5	80.9
小 計	289.8	8.0	171.3	469.1
その他の項目	-	-	-	7.9
計	-	-	-	477.0

出所：CACEX

表240 煙草葉：生産者受取価格

CR/15kg

月別	1980	1981	1982
1	1,630.20	3,725.50	16,821.30
2	1,721.50	3,968.70	17,951.10
3	1,649.70	4,201.90	21,998.10
4	1,991.80	5,109.50	22,112.70
5	2,083.00	5,926.00	24,214.80
6	2,180.20	6,186.20	27,750.00
7	2,467.40	6,829.60	30,833.30
8	2,583.80	6,897.70	31,857.10
9	2,712.30	7,000.00	32,333.33
10	2,822.70	11,448.50	25,833.33
11	3,349.80	12,642.50	24,857.14
12	3,742.40	14,688.20	30,511.50

出所：IEA サンパウロ州の場合

3.4 嗜好作物

3.4.1 コーヒー

1) 生産

表241 コーヒー：81/82農年生産実績

順位	州 別	面積 1000ha	生産量1000トン	単収kg/ha	%
1	サンパウロ	556.0	715.7	1287	35.7
2	ミナス・ジェライス	480.1	574.0	1,196	28.6
3	エスピリト・サント	327.7	369.8	1,128	18.4
4	パラナ	302.8	179.8	594	9.0
5	バイア	74.6	95.4	1,279	5.0
	その他	116.2	72.0	619	3.3
	全 国 計	1,857.5	2,006.7	1,080	100.0

出所：IBGE

表242 コーヒー：生産推移

1,000トン

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
サンパウロ	1,018	1,023	895	1,164	716
ミナス・ジェライス	515	939	433	1,319	574
エスピリト・サント	234	282	358	306	370
パラナ	620	238	337	820	180
その他	148	184	110	146	167
全 国 計	2,535	2,666	2,133	3,755	2,007

面積 1,000ha	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
	2,184	2,406	2,415	2,378	1,857

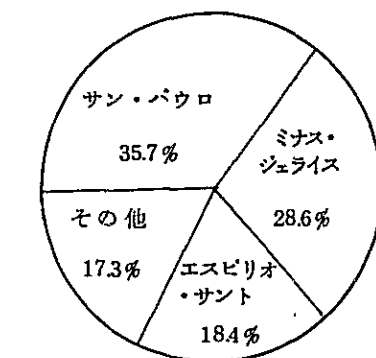
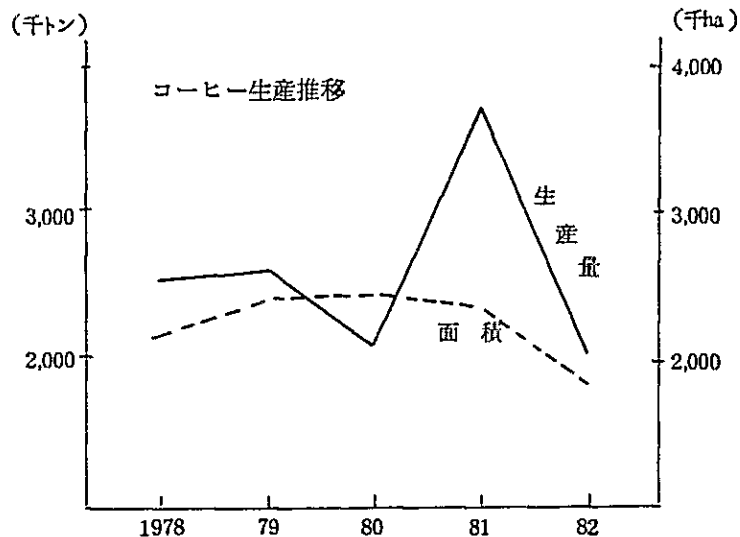
出所：IBGE

表243 コーヒー：単収推移

kg/ha

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
サンパウロ	1,382	1,287	1,111	1,384	1,287
ミナス・ジェライス	1,338	1,812	937	2,494	1,196
エスピリト・サント	984	1,000	1,177	1,109	1,128
パラナ	925	376	530	1,294	594

出所：IBGE



ロ) 国際市場

米国農務省が行った推定によると81/82農年における世界のコーヒー生産量は約964百万俵過去5ヶ年間で最大の供給量に達し、次年度に繰越される期末在庫も又45百万俵近くに達したものとされている。82/83年については、ブラジルの減産により前年を19%減じた80.8百万俵の生産に止まる見込みであり、各生産国の国内消費量を差引いた輸出可能量は約6千万俵となり前年を約20%下廻ることとなる。

表244 コーヒー：主要生産国の78/79～82/83農年生産量及び輸出可能量

単位1,000俵(60kg)

国 別	78/79	79/80	80/81	81/82	82/83
南 米					
ブラジル					
生産量	20,000	22,000	21,500	33,000	17,750
輸出可能	12,000	14,000	13,500	24,500	9,750
コロンビア					
生産量	12,600	12,712	13,500	14,000	13,500
輸出可能	10,970	10,962	11,675	12,150	11,645
中 米					
メキシコ					
生産量	4,042	3,600	2,880	3,900	3,900
輸出可能	2,935	2,310	2,380	2,300	2,200
エルサルバドル					
生産量	3,423	3,322	2,690	2,380	2,400
輸出可能	3,228	3,122	2,490	2,180	2,200
グアテマラ					
生産量	2,827	2,647	2,702	2,700	2,600
輸出可能	2,517	2,332	2,381	2,375	2,265

国 別	78/79	79/80	80/81	81/82	82/83
アフリカ					
象牙海岸					
生産量	4,742	3,973	6,040	4,600	5,000
輸出可能	4,677	3,908	5,976	4,535	4,932
ウガンダ					
生産量	1,944	2,042	2,133	2,400	2,100
輸出可能	1,905	2,001	2,090	2,355	2,054
アジア					
インドネシア					
生産量	4,788	4,803	5,162	5,162	5,400
輸出可能	3,738	2,723	4,062	3,962	4,150
その他					
生産量	24,606	26,847	27,976	28,217	28,160
輸出可能	17,946	19,910	20,869	21,145	20,778
世界生産計	78,972	81,946	85,583	96,359	80,810
内輸出可能分計	59,916	62,268	65,423	75,502	59,974

出所：USDA

表 245 コーヒー：世界の需給及びストック

1,000 俵 (60 kg)

農年	期首在庫	生産量	輸入量	供給量計	生産国の 国内消費	輸 出	期末在庫
1976/77	39,393	60,864	580	100,837	18,126	56,984	25,727
77/78	25,727	70,995	601	97,323	18,909	48,869	29,545
78/79	29,545	78,972	713	109,230	19,504	64,655	25,071
79/80	25,071	81,946	717	107,734	20,010	61,812	25,912
80/81	25,912	85,583	669	112,164	20,482	59,705	31,977
81/82	31,977	96,359	703	129,039	21,386	62,910	44,743
82/83	44,743	80,810	691	126,244	21,185	63,353	41,706

出所：USDA、 コーヒーの農年は大部分の国が10月に始まり翌年9月に終る

インスタント・コーヒーも(豆)に換算して含まれている。

ブラジルの輸出量は17百万俵で世界輸出の26.8%を占め、コロンビアが14.8%でこれに続いている。インスタントコーヒーもブラジルは同じく世界の首位を占め82年度には45千トンを輸出している。

1981年の降雪によってブラジル生産が減少したものの83年中期における世界市場は、各生産国、とくにアフリカ諸国における増産のため次期に繰越されるキャリー・オーバー41.7百万俵によって需給が均衡する見込みであるが、これらの生産国が生産物の一部を自国に保留する場合には世界市場でのコーヒー不足が起り得る。

ブラジルの輸出総額に占めるコーヒーの比重は年々減少の傾向にあり、81年度で7.5%、82年度は10.5%であった。

81年度も又ブラジルのコーヒーにとっては米国が最大の市場で輸出コーヒーの26.4%を占めており、続いて西独9.5%、英国3.4%の順である。

表246 コーヒー：輸出推移

区 分	重 量 1,000トン					金 額 100万ドルFOB				
	1978	79	80	81	82	1978	79	80	81	82
コ ー ヒ ー(豆)	621	562	784	825	888	1,947	1,918	2,486	1,517	1,858
インスタントコーヒー	44	53	40	44	45	348	408	285	238	251
計	665	615	824	869	933	2,295	2,326	2,771	1,755	2,109

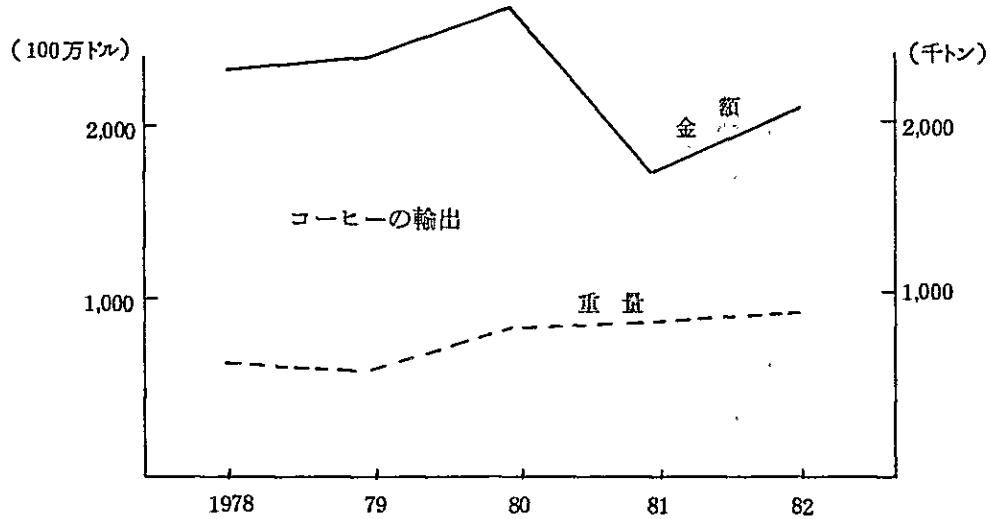


表247 コーヒ(豆)の輸出 1982年

輸出先国	重量 1000トン	金額 100万ドル
米 国	2125	4592
西 独	857	1820
イ タ リ ー	854	1820
フ ラ ン ス	544	1146
日 本	517	1113
ス エ ー デ ン	517	1104
ス ペ イ ン	404	838
オ ラ ン ダ	338	710
ベ ル ギ ー	263	557
デ ン マ ー ク	267	551
そ の 他	2194	4324
計	8880	18575

出所：CACEX 関税番号09.01.01.00

表248 コーヒー：インスタント・コーヒーの輸出

輸出先国	重量 1000トン	金額 100万ドル
米 国	17.7	97.9
英 国	13.1	71.3
西 独	3.4	19.2
日 本	2.3	13.6
カ ナ ダ	2.3	13.1
オーストラリア	1.8	10.2
ノールウェー	1.0	5.3
ハンガリー	0.5	3.3
イスラエル	0.5	3.2
フ ラ ン ス	0.4	2.0
そ の 他	1.8	11.4
計	44.8	250.5

出所：CACEX 関税番号21.02.01.04

世界の1人当りコーヒー消費量はここ数年間減少気味であり、世界最大の市場米国では62-81年間に年間1.9%の減少がみられている。世界のコーヒー市場は米国のほか西独、イタリー及びフランスがヨーロッパの代表的市場であるが82年にはヨーロッパ側の市場が輸入を増やしたのに対し米国の輸入は落ちており、これが世

界のコーヒー価格にネガティブな影響を与えた。

世界のコーヒー価格調整のための機構としてはOIC（世界コーヒー協定）があり、ブラジルもその加盟国の1つとして同協定が決定する輸出割当に従っている。82年度の協定としてはコーヒー価格が15日間にわたってポンドあたり最低120セント最高140セントの範囲外となる場合それぞれの輸出割当量が25%増加または縮小されることとなっている。

同協定にもとづくブラジルの割当では81/82農年について15.5百万俵と定められたが価格の下落に伴う最初の輸出量縮小措置では全体的に100万俵の縮小のうちブラジルは一部がその対象から免除されたため75千俵に止まった。しかし8月には再び100万俵の割当量打ち切りがあり、この際ブラジルは最大量の288千俵の割当て縮小を受けている。

この様にしてOIC加盟諸国に対する世界の供給量は53,879千俵より50,878千俵へと縮小され、ブラジルは当初の15,500千俵より15,131千俵へと落された。この世界供給量の減少と7月の末にブラジルの南部で発生した気温の低下が加わり、更に需要の若干の増加から価格はようやく回復に向った。

表249 コーヒー：世界コーヒー機構（OIC）指示価格

ポンド当りセント

年 月	コロンビア スワーベ種	その他の国 のスワーベ種	アラビカ種	ロブスタ種	混 合 種
1978	185.20	162.82	165.29	147.48	155.15
1979	183.41	173.53	178.47	165.47	169.50
1980	178.82	154.20	208.79	147.17	150.67
1981	145.33	128.09	179.54	102.87	115.89
1982					
1月	148.89	143.90	148.95	106.01	124.43
2月	156.76	155.00	153.11	115.63	134.30
3月	156.61	144.83	143.70	112.83	129.01
4月	154.83	141.44	143.86	106.67	124.01
5月	149.40	137.00	141.33	102.96	120.56
6月	144.78	141.02	144.42	102.85	121.14
7月	141.87	133.11	138.17	99.67	115.92

出所：OIC/PROGNOSTICO 1俵60kg = 132.271ポンド

表150 コーヒー：ニューヨーク市場先物相場 US\$/ポンド

月別	1980	1981	1982
1	17220	12778	14022
2	16724	12058	15354
3	18451	12392	14526
4	18281	12595	13589
5	19771	12132	12676
6	19325	10213	13804
7	16314	10413	12454
8	13916	11400	13144
9	12021	11462	13428
10	12859	13477	14095
11	11869	14449	13765
12	12216	13747	13192

出所：UNICOM/AGROANALYSIS

ハ) 国内市場価格

表252 コーヒー：粉末コーヒー小売価格

表251 コーヒー：生産者受取価格 CR/60kg

月別	1980年	1981	1982
1	3,216.40	6,010.90	10,384.00
2	3,559.70	6,297.30	10,596.50
3	4,707.60	6,298.40	11,204.20
4	5,313.30	6,262.70	12,108.30
5	5,601.10	6,288.00	12,943.00
6	5,444.80	6,243.80	14,608.20
7	5,111.70	6,322.50	14,656.90
8	5,151.00	7,360.00	15,091.40
9	5,585.40	7,480.00	15,291.83
10	5,529.80	7,599.90	16,553.47
11	5,436.80	8,228.00	17,929.48
12	5,540.60	9,125.30	20,971.40

出所：INFORMACAO ECONOMICA

CR/500g

月別	1980	1981	1982
1	60.70	91.80	211.45
2	60.70	118.80	237.80
3	60.70	118.80	256.00
4	60.70	118.80	259.55
5	60.70	118.80	281.80
6	67.12	118.80	323.25
7	73.29	121.49	366.75
8	75.60	137.00	372.60
9	75.60	180.02	372.05
10	86.85	175.00	366.95
11	87.50	175.36	412.15
12	91.10	183.21	426.55

出所：IEA

ニ) 市場及び価格

ブラジル・コーヒー院が82年7月に行った推定によると次年度のコーヒー生産量は約173百万俵となる見込みでサンパウロ州57百万俵、パラナ州1.6百万俵、ミナス・ジェライス州3.8百万俵、エスピリット・サント州800千俵、バイヤ州600千俵の生産分布が予想されている。

サンパウロ州では精製部留りが前期と同水準(20kg)ならば1,000本あたり8.8俵の生産となる見込みである。

国内消費量は1980年が7.6百万俵、81年が7.8百万俵であったが83年度の輸出量を17百万俵とし、8百万俵を国内で消費するならば83年6月のキャリー・オーバーは7.9百万俵に落ちる見込みである。

コーヒーの販売に関する調整手段としては次の公式措置が発表されている。

- a) 82年7月30日付IBC決議第23,第24号により(豆)及びインスタントコーヒーの輸出申告が8月1～20日間に行なわれた。
- b) 為替収金の減額: 1981年8月以降コーヒー(豆)60kg 1俵あたりの輸出にかかわる為替収金がUS\$50に減額された。またインスタントコーヒーについては81年7月以降ポンド当りスプレー型に対し0.75ドル、フリーゼ型に対して0.90ドルと決定された。
- c) 認可された輸出会社に対するIBCによる輸出量割当て基準の変更～毎年12月の始めに12月31日における輸出可能製品のストック量が輸出割当ての基準として考慮されるようになった。この措置により農協の輸出量が増加した。
- d) サントス港又は他の港よりのコーヒーの輸出にかかわるICM(商品流通税)の支払期限を90日間とした。
- e) 現行の輸出最低価格は1月に決定された、これによるとコーヒー(豆)第6級US\$1.30/ポンド、インスタント、スプレー型US\$3.15/ポンド、フリーゼ型CR4.10/ポンドとなっている。
- f) IBCによる買上げ保証価格は為替レートの変動に応じ30/7/82以降第6級1俵あたりCR18,880.00とされた。
- g) 3/8/82付決議第26号により新しい焙煎工場の登録を中止した。これは業界の細分化を避け合理化を図ることを目的としたものである。

小売価格については焙煎工場に対する補助が打切られたあと自由化されたため大巾な値上りをみており、82年8月時点の平均価格がCR744.89/kgに達したため需要の減退がみられた。

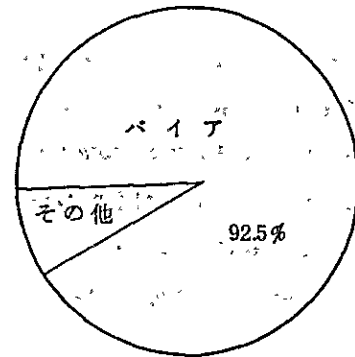
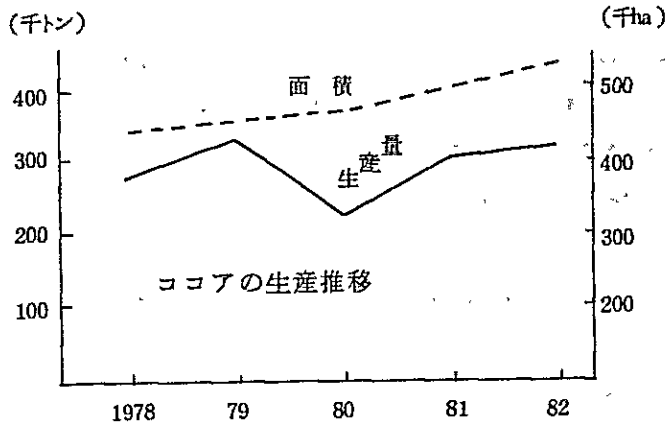
3.4.2 コ コ ア

1) 生 産

表253 ココア: 81/82農年生産実績

順位	州 別	面積 1000ha	生産量1000トン	単収 kg/ha	%
1	バ イ ア	459.3	294.4	641	92.5
2	エスピリト・サント	22.6	12.0	532	4.0
3	ロンドニア	17.6	5.9	335	2.0
4	パラナ	23.9	5.5	231	1.5
5	アマゾナス	3.0	0.5	168	-
	そ の 他	2.9	0.1	34	-
	全 国 計	529.2	318.4	602	100.0

出所: IBGE



ココア：81/82農年の生産分布

表254 ココア：生産推移

1,000トン

州別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
バイヤ	271	321	213	284	294
エスピリット・サント	12	12	10	12	12
その他	1	3	5	8	12
全国計	284	336	228	304	318

面積 1,000ha	444	454	470	500	529
------------	-----	-----	-----	-----	-----

表255 ココア：単収推移

kg/ha

州別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
バイヤ	655	785	497	636	641
エスピリット・サント	561	558	427	538	532

出所：IBGE

世界ココア市場の不況にかかわらずブラジルのココア栽培は年々面積の拡大がみられ81/82農年には529千ヘクタールに達しているこの面積は5年前の77/78農年を約20%上廻るもので生産量も5ヶ年間に12%の増加であったが、78/79年の記録的生産量には達していない。

全国生産の92.5%を占めるバイヤ州の生産地帯では長期乾燥に見舞われているので次期生産の減少が予想されている。

ロ) 輸 出

表256 ココア(豆)及び主要加工品の輸出推移

品目	重 量 1,000トン					金 額 100万ドルFOB				
	1978	79	80	81	82	1978	79	80	81	82
ココア(豆)	134	157	124	125	144	454	487	292	242	216
リコール	48	68	68	73	37	194	271	219	195	79
バター	19	21	27	29	30	83	119	158	145	120

出所：CACEX

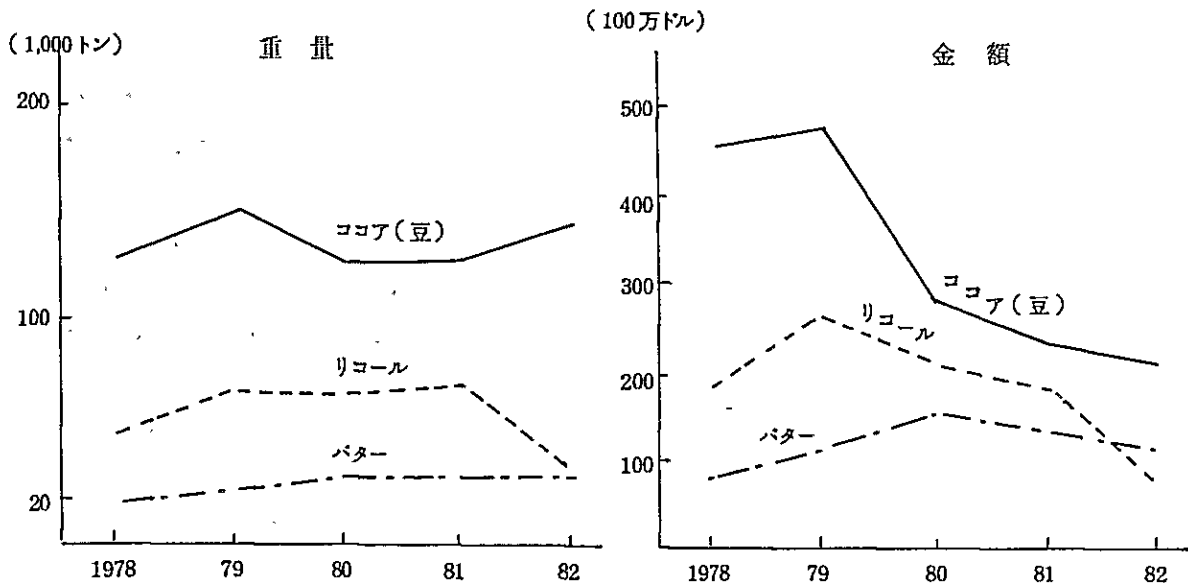


表 257 ココア及加工品：1982年度の輸出実績

関税番号	品目	重量 1000 トン	金額 100 万ドル
18.01.01.00	ココア(豆)	143.5	216.0
18.02.00.00	” かつ、皮	1.4	0.5
18.03.01.00	” リコール	36.5	79.6
18.03.99.00	” ”	25.8	10.9
18.04.00.00	” バター	30.5	120.4
18.05.00.00	” 粉末ココア	3.6	2.1
小計		241.3	429.5
1806 計	チョコレート	14.8	10.8
18 合計	ココア及加工品計	256.1	440.3

出所：CACEX

ブラジルの重要輸出品目であるココア及び加工品の1982年度における輸出は440百万ドルであったが1979年頃の8億ドル以上の輸出に比較して半分の外貨収入に落ちている。また前年との対比でも28%の減少であり79年以降輸出金額の減少が続いている。このような輸出金額の減少は1977年以降続いている国際価格の低迷によるもので最近3年間の例をとってみても1980年1月のトン当り国際相場のUS\$3,067は82年8月にはUS\$1,388へと下落している。

この様な情勢に対し国際ココア協定の加盟国間ではその対策のための検討が行なわれブラジルの銀行コンソーシアムが提案した75百万ドルの融資を利用する製品の貯蔵とこれによる価格調整の方法がも

表 258 ココア：(豆)の輸出実績1982年

輸出先国	重量 1,000トン	金額 100万ドル FOB
米 国	37.4	51.5
ソ 連	27.6	40.1
オ ラ ン ダ	17.4	29.9
西 独	12.6	21.7
ス ペ イ ン	14.7	21.6
ポ ー ラ ン ド	9.4	12.4
ブ ル ガ リ ア	3.3	5.3
カ ナ ダ	2.9	4.3
ア ルゼ ンチ ン	2.4	4.2
ハ ン ガ リ ー	1.8	4.5
日 本	2.3	3.5
英 国	2.2	3.3
そ の 他	9.5	13.7
計	143.5	216.0

出所：CACEX

っとも可能性のある方法として検討された。しかしながら一部消費国の本案に対する反ばつがあったため資金の融資が銀行側で決定したにもかかわらず実現していない。この価格調整システムの実現が実行されないことが判るに従い世界のココア相場はさらに下降するというネガティブな結果に終わった。

しかしこの様に底値を低迷しているココア市場も82/83農年にはブラジルを始めアフリカ諸国での減産が予想されているためやや反発している。事実ココア専門家の見通しとしては最近数年間にわたる価格の低迷から生産者の収益が圧迫され、生産管理費の支出が困難となっているため一部の生産費項目とくに肥料、農薬の使用を減らす傾向があり、その結果として単収の減少生産の低下を招くというものである。

この生産性の低下は、天候異変も加って更に倍加する見通しである。たとえばパイア州は82年の10月と12月の間に乾燥に見舞われたがこの様な現象は長く発生したことのなかったことで生産性に極度の影響を受けている。またガーナや、象牙海岸、及びナイジェリアでも長期の乾燥、砂漠より吹き込む熱風、気温の急激な変化、火事等々に遭遇している。

表259 ココア：リコールの輸出実績 1982年

輸出先国	重量 1,000トン	金額100万 ドルFOB
米 国	128	25.6
ソ 連	7.7	18.9
アルゼンチン	4.4	9.9
ハンガリー	2.8	6.2
西 独	2.3	4.1
ポルトガル	1.4	3.6
ポーランド	0.7	2.0
日 本	0.9	1.7
フ ラ ンス	0.7	1.4
オ ラ ン ダ	0.5	1.1
南アフリカ連邦	0.5	1.1
そ の 他	1.8	4.0
計	36.5	79.6

出所：CACEX

表260 ココア：バターの輸出実績 1982年

輸出先国	重量 1,000トン	金額100万 ドルFOB
米 国	108	40.4
オ ラ ン ダ	10.0	38.2
日 本	3.1	13.5
西 独	1.7	7.8
英 国	0.0	4.0
オーストラリア	0.8	2.9
東 独	0.7	2.7
そ の 他	2.4	10.9
計	30.5	120.4

出所：CACEX

表261 ココア：粉末ココア輸出実績 1982年

輸出先国	重量 1,000トン	金額100万 ドルFOB
米 国	1.4	0.8
チ リ	0.5	0.4
オーストラリア	0.5	0.3
ハンガリー	0.4	0.2
そ の 他	0.8	1.4
計	3.6	2.1

出所：CACEX

表262 ココア：ニューヨーク先物市場相場月間平均 US\$/トン

月別	1980	1981	1982
1	3,067.26	1,983.50	2,097.82
2	3,179.69	1,891.74	1,939.64
3	3,029.12	1,998.41	1,828.82
4	2,847.90	1,957.96	1,652.50
5	2,458.80	1,790.30	1,583.70
6	2,395.07	1,450.00	1,408.86
7	2,285.07	1,837.09	1,429.95
8	2,117.08	2,012.80	1,388.14
9	2,227.30	2,126.12	1,561.48
10	2,157.78	2,027.95	1,488.90
11	2,076.39	1,892.62	1,355.40
12	1,990.45	2,007.14	1,526.19

出所：UNICOM/AGROANALYSIS

以上のような天候異変が直接価格に反映するわけでもないが、82年の末になると82/83年の収穫が低下するという見通しが可成り具体的となり、当初、依然として若干の余剰が出るという予想を主張してきたロンドンの仲買商GILL & DUFFUS社も最終的に供給が不足だろうとの見通しに切り替えている。大方の推定では82/83農年の生産は消費量を約78千トン下廻るとしており、米国農務省は前を10%下廻る生産に落着くだろうとの見通しを立てている。

この様に82/83農年の生産は低下し、消費量を下廻る予想が一般的となっており、ブラジルにとっては価格の上昇を期待出来る年になりそうであるが、すでに長年にわたって生産国、消費国のいづれにおいても可成りのストックがあるので1農年の不作がただちに供給不足となり価格上昇につながるとはいえない。世界のストックについては、情報がまちまちで明確ではないがほぼ400~600千トンと見積られており、1年間の世界消費量の25%~40%に相当する量である。したがって国際相場は上っても若干の値上りに止まる可能性が強く記録的な価格上昇を期待することは困難であろう。

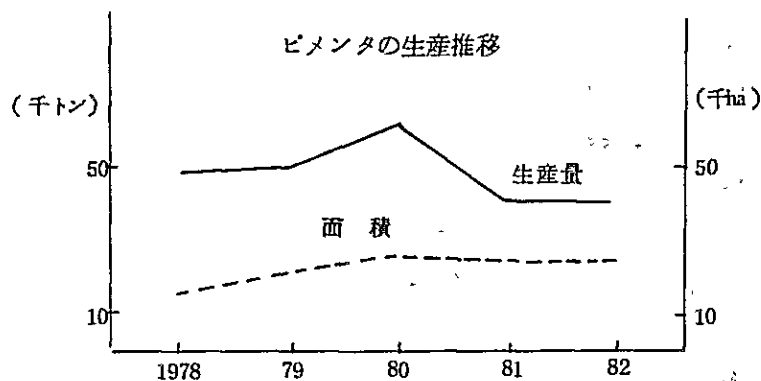
3.5 香辛作物

3.5.1 ピメンタ

表263 ピメンタ、ド・レイノ：81/82農年生産実績

順位	州別	面積1000ha	生産量 1000トン	単収 kg/ha	%
1	パラ	20.0	35.3	1,764	91.0
2	エスピリト・サント	0.5	1.2	2,389	3.1
3	マラニョン	0.3	1.1	3,935	3.0
4	バイア	0.8	0.6	723) 2.9
	その他	1.0	0.6	-	
	全国計	22.6	38.8	1,718	100.0

出所：IBGE



81/82 農年の生産分布

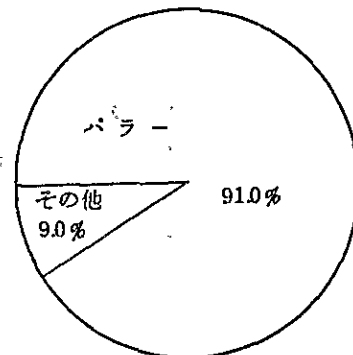


表 264 ビメンタ：生産推移

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
パ ラ ー	44	46	58	35	35
そ の 他	3	3	4	5	4
計	47	49	62	40	39

面積 1,000ha	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
	16	20	24	23	23

表 265 ビメンタ：単収推移

州	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
パ ラ ー	3,600	3,027	3,055	1,920	1,764

出所：IBGE

表 266 ビメンタの輸出推移

年 度	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1978	30.0	59.8
79	24.7	46.8
80	30.8	53.0
81	45.6	56.8
82	44.5	48.5

表 267 ビメンタ(黒)の輸出 1982年

輸出先国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
米 国	17.7	17.5
フ ラ ン ス	5.9	6.0
そ の 他	15.8	16.9
計	39.4	40.4

出所：CACEX 関税番号 09.04.01.01

表 268 ビメンタ(白)の輸出 1982年

輸出先国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
アルゼンチン	1.5	2.6
フ ラ ン ス	1.1	1.7
そ の 他	2.5	3.8
計	5.1	8.1

出所：CACEX 関税番号 09.04.01.02

3.5.2 ニンニク

イ) 生産

表269 ニンニク：81/82農年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量1,000トン	単 収 kg/ha	%
1	ミナス・ジェライス	5.0	21.9	4,386	32.1
2	サンタ・カタリーナ	2.8	11.3	4,000	16.6
3	ゴ ヤ ス	2.9	8.0	2,731	12.0
4	リオ・グランデ・ド・スール	2.1	6.1	2,903	9.0
5	バ イ ア	1.3	4.6	3,465	7.0
6	バ ラ ナ	1.3	4.6	3,500	7.0
7	サンパウロ	0.8	3.5	4,290	5.1
8	エスピリト・サント	0.6	2.8	4,650	4.1
9	マツ・グロソ・スール	0.5	1.3	2,446	2.0
10	バ ラ イ バ	0.3	0.9	3,646	1.3
11	ベルナンブコ	0.3	0.9	2,750	1.3
12	ピ ア ウ イ	0.2	0.7	4,737	1.0
13	リオ・グランデ・ノルテ	0.1	0.5	4,000	0.7
14	セ ア ラ	0.1	0.5	4,270	0.7
15	ブラジリア	0.1	0.4	5,053	0.1
	そ の 他	0.1	0.1	1,839	-
全 国 計		18.6	68.2	3,674	100.0

出所：IBGE

ブラジルは今日年間6万トンの需要を持つ世界第2のニンニク消費国であるため国内生産にはとくに重要な関心が寄せられている。1981/82農年の生産は81年に上昇した価格が刺激となって栽培面積が拡大したため、生産量も前年の49千トンより68千トンへと急激に増大した。この生産量は生育期間中と調整時期に発生した損失分がなかった場合更に増大したものと推定されている。

現時点での単収は1haあたり4トン前後の水準にあるが、栽培技術の改良や優良品種の導入によって5トンまで伸ばすことが可能とされており、国家ニンニク増産計画を中心として生産性の向上に関する研究がすすめられている。

栽培はほとんど全州にわたっておこなわれて行なわれているが、これは全般に気象条件が栽培に適していること。高収益作物であることのほか、国家ニンニク計画による助成が行なわれているためによる。この国家計画は輸入を減少するばかりでなく、新しい栽培地帯に関する市場性、消費者の啓蒙、調査及び融資を行なうもので従来より今日にかけて継続している海外依存を打切ろうとするのがねらいとされている。

最近のニンニク栽培にみられる問題点は苗の価格が生産コストの50~60%に達していることであり、さらに生産資材と貯蔵コストの上昇がある。更に問題とされているのは、ニンニク栽培者の中にこれら生産資材の適切な利用方法が普及していないためいたずらにコストを高めているきらいがあり、栽培技術指導普及の必要性が感じられている。

82年の6月にサンパウロで行なわれた第4回にんにく生産及び販売に関する全国大会に発表された報告によ

ると次年度には引き続き大巾な増産が期待されており純生産量（生産量より種子、及び工業用原料分を差引いた量）で46.8千トンに達する見通しとなっている。地域別には南東地方18.2千トン、南部12.2千トン、中西部9.5千トン及び東北部6.9千トンとされている。次年度の予想も81/82農年と同様に南東地方がリードしているがこの中ではミナス・ジェライス州の生産がもっとも大きく、南部地方ではサンタ・カタリーナ州とリオ・グランデ・ド・スール州、又中西部地方最大のニンニク生産地帯はゴヤス州である。全国的なシェアでは上記3地方に落ちる東北地方ではバイア州が最大の生産地帯となっている。

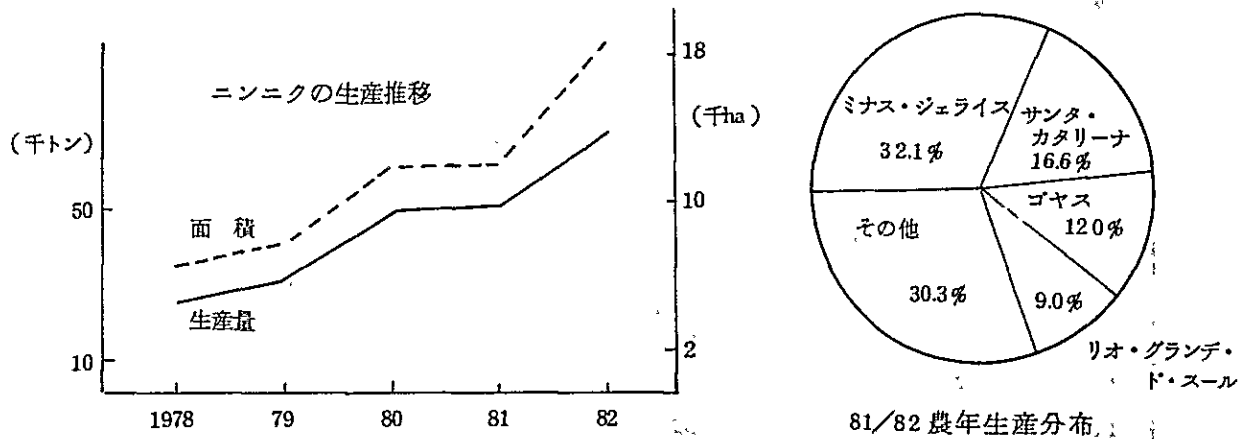


表270 ニンニク：生産推移

1,000トン

州 別	78/78	78/79	79/80	80/81	81/82
ミナス・ジェライス	11	13	17	16	22
サンタ・カタリーナ	2	5	14	10	11
ゴヤス	2	4	4	7	8
リオ・グランデ・ド・スール	4	4	5	6	6
バイア	2	1	2	3	5
パラナ	1	2	3	3	5
その他	2	2	3	4	
全国計	24	31	48	49	68

面積 1,000ha	7	8	12	12	19

出所：IBGE

表271 ニンニク：単収推移

kg/ha

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
ミナス・ジェライス	3,561	3,936	4,180	4,283	4,386
サンタ・カタリーナ	3,266	3,664	4,170	4,124	4,000
ゴヤス	4,500	5,000	5,300	5,680	2,731
リオ・グランデ・ド・スール	3,047	2,985	2,913	2,835	2,903
バイア	3,200	2,603	2,642	3,475	3,465
パラナ	2,934	3,477	4,000	3,400	3,500

出所：IBGE

ロ) 市場及び価格

81/82農年の豊作によってその生産物が7月以降市場に出廻り始めたのと、輸入品のストックが加ったため、供給量が増大し、これが価格に影響したばかりでなく取引方法そのものにも大きな変化を与えることとなった。

表272 ニンニク：国内推定消費量

トン

年 度	生 産 量	種子用保留	損 失	国内供給量	輸 入 量	推定消費量
1977	22,000	4,800	3,300	13,900	33,295	47,195
78	23,975	6,400	3,600	13,975	33,427	47,902
79	31,291	7,400	4,800	19,091	33,844	52,935
80	40,303	8,100	5,600	26,603	30,706	57,309
81	49,100	9,500	6,200	33,400	21,063	54,463
82	68,200	10,600	12,000	45,600	21,475	67,075

出所：CFP（但し生産量はIBGEの統計をもとにした）

通常国産ニンニクの取引きは生物又は半乾きの状態で行なわれるが、1982年には、大半の産物が乾燥の状態ですべて箱詰めして取引されたためこの方法に不馴れの生産者や組合では調整の段階で多くの損失をみたり、植物衛生上の問題をひきおこした。市場におけるこの様な取引方法の変化と平行して主要市場では早生種の需要がなく、また東北地方での生産量が増加したためゴヤス、ミナス・ジェライス、マツト・グロソ及びバイヤ州で生産された普通種の販売は大きな困難に直面した。

この様に史上最大の国内生産をあげ流通上の問題まで生じながらいまだに端境期には輸入品に依存せざるを得ず82年度も21千トンの輸入に対して45百万ドルの外貨が支出されている。ブラジルへのニンニク供給国はアルゼンチン、スペイン、メキシコ、チリー、ウルグアイ及びボリビア等であり82年よりは台湾の産物も輸入され始めているが、中でもアルゼンチンはその収穫期がブラジルの端境期にあたり隣国としての近距離の位置にもあるため大半の輸入品はこの隣国による場合が多い。

表273 ニンニク：輸入実績

輸入先国	重 量 トン					金 額 1,000ドルCIF				
	1978	79	80	81	82	1978	79	80	81	82
アルゼンチン	18,344	22,669	19,807	13,072	10,047	21,904	21,677	25,232	19,278	25,457
ス ペ イ ン	7,217	7,949	7,361	3,663	7,688	10,115	7,134	10,076	8,447	12,419
メ キ シ コ	3,606	2,141	2,877	4,086	2,807	4,198	2,190	3,810	6,618	5,821
そ の 他	4,260	1,085	661	242	933	4,391	857	712	508	1,747
計	33,427	33,844	30,706	21,063	21,475	40,606	31,858	39,830	34,851	45,444

出所：MF/CFP

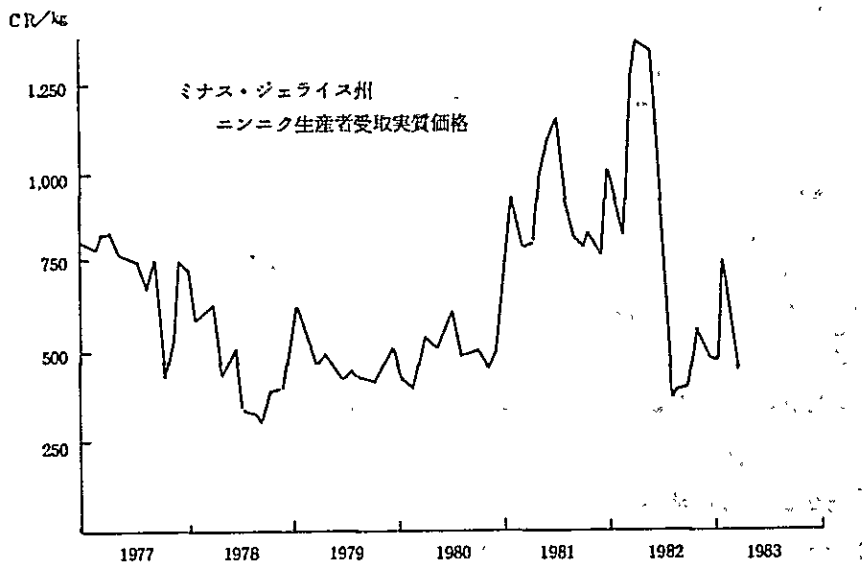
1982年のニンニク輸入については関税政策審議会において次の事項を承認している。

- 6月、7月及び8月の輸入限度は9,000トンとする。
- 毎月の輸入枠は2,700トン+900トン(リザーブ用)とし、CACEX(ブラジル銀行貿易管理局)がコントロールする。
- ニンニクの輸入期限は82年8月31日までとし、7月15日以降はG I(輸入許可状)の発給が中止される。

る。

d) 特に国産ニンニクが不足する時期に限って輸入関税が免除される。

国内価格については80/81農年に定められた最低保証価格は乾燥ものCR50/kg及び半乾燥ものCR3280/kgでこれが生産者の満足するところとなって栽培面積の拡大を促した理由となった。81/82農年の最低保証価格はそれぞれCR240/kg及びCR163/kgと定められ、これも生産者にとって満足すべき価格とされたが、82年の当初には端境期の品不足から市場価格が高騰し一時的に1kg当りCR1400に達する高値に達したあと81/82農年の生産物が市場に出始めた7月には急激に価格の下落をみてCR370/kgに落ちている。



3.6 果 実

3.6.1 オレンジ

イ) 生 産

表274 オレンジ：81/82農年の生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量100万個	単収 個数/ha	%
1	サンパウロ	441.0	45750.0	103,777	79.0
2	セルジッペ	24.4	2595.0	106,145	4.5
3	リオ・デ・ジャネイロ	36.0	2276.5	63,744	4.0
4	ミナス・ジェライス	29.0	2006.0	69,188	3.5
5	リオ・グランデ・ドスール	20.0	1,619.0	82,553	2.8
6	バイア	11.4	1,008.0	87,988	2.0
7	マラニョン	4.0	428.3	115,625	0.7
8	パラナ	4.2	378.0	89,960	0.6
9	サンタ・カタリーナ	2.3	368.0	160,000	0.6
10	ベルナンブコ	4.3	174.4	64,290	0.5
11	ゴヤス	2.2	274.4	77,857	0.3
12	セアラ	1.7	170.0	100,000	0.3
13	パライーバ	1.8	169.0	94,637	0.3
14	ピアウイ	1.3	137.0	102,574	0.2

順位	州 別	面積 1000ha	生産量 100万個	単収 個数/ha	%
15	エスピリト・サント	1.5	119.1	76,919	0.2
16	アラゴアス	1.0	69.0	79,794	0.1
17	マット・グロス	0.7	60.0	84,668	0.1
18	マット・グロソ・ド・スール	0.4	20.0	53,322	
19	ロライマ	0.1	3.3	550	
	その他	2.1	2926	-	
	全国計	589.4	57,917.3	98,265	100.0

出所：IBGE

ブラジルのオレンジ生産は毎年増加を続けており81/82農年では78年の栽培規模を面積で30%、生産量で48%上回る約60万ヘクタールより230万箱近い生産をあげている。(注：1箱は平均250ヶ入り40.8kg)国内の生産地帯は濃縮ジュース工場と大消費市場を持つサンパウロ州に集中し、81/82農年には全生産量の約80%が同州によって占められている。70年代まではサンパウロ州に続いてリオ・デ・ジャネイロ州の生産が大きかったが、70年代の後半より生産を伸ばしてきた東北地方のセルジッペ州がリオを抜き全国2位かつ東北地方最大の生産地として重要な位置にある。上記サンパウロ州及びセルジッペ州は単収においても秀れておりそれぞれ1haあたり400箱を上回る高い生産性である。

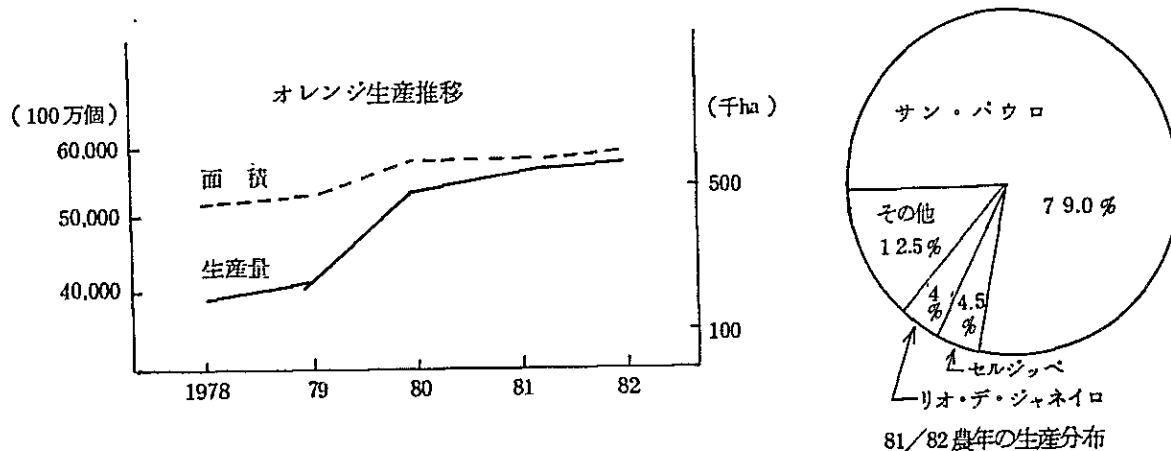


表275 オレンジ：生産推移

	100万個				
	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
サンパウロ	28,465	30,646	42,400	45,050	45,750
セルジッペ	1,639	1,658	2,396	2,420	2,595
リオ・デ・ジャネイロ	2,059	2,626	2,322	2,314	2,276
ミナス・ジェライス	1,617	1,763	1,815	2,114	2,006
リオ・グランデ・ド・スール	1,723	1,852	1,823	1,696	1,619
その他	3,620	3,681	3,591	3,555	
全国計	39,132	42,226	54,347	57,149	57,917
面積 1000ha	455	475	575	576	589

表276 オレンジ：単収推移

個/ha

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
サンパウロ	87,224	92,535	99,193	104,090	103,777
セルジッペ	110,007	80,729	103,024	106,142	106,145
リオ・デ・ジャネイロ	77,532	80,825	66,187	66,629	63,744
ミナス・ジェライス	72,318	69,221	70,257	77,271	69,188
リオ・グランデ・ドスール	72,373	75,349	79,500	87,454	82,553

出所：IBGE

ブラジルのオレンジ生産量の中60%は海外輸出に向けられ残り40%が国内で消費される。とくに最大の生産地帯を持つサンパウロ州では加工工場が整備されているため州内生産量の80%が工業加工に廻される。この様な数字はオレンジが海外依存度の高い作物であることを示すものであり、その生産規模が大きく、多くの生産者と労働者が動員されている部門であるため年間を通した政府の干渉と政策を必要とする部門となっている。政府当局の干渉は主に原料生産者を保護し、工場側が有利な輸出を行なうことを目的とするものであるが、往々として品質のよい生産物を出荷する生産者も低品質のものと同様の取扱いを受けたり工場からの距離の遠近にかかわらず同一買上げ価格であったり種々の問題が発生しておりその調整が必要とされている。

ブラジルのオレンジ・ジュースは世界最大の生産地帯としての米国フロリダ州の作柄いかんによって景気の浮沈が決定される作物であり、時として思わぬブームが到来したり、底値に苦しめられる時期があるなど価格変動のはげしい作物であるだけに政府の干渉のみによらず強力な生産者組合の出現がのぞまれている。

箱数で表わしたオレンジの生産量及びジュースの生産量は次表の通りである。

表277 オレンジ及びジュース生産量

	オレンジ生産量 100万個	ジュース生産量 トン
1977/78	83	210,000
78/79	143	420,000
79/80	150	440,000
80/81	156	470,000
81/82	181	575,000

出所：CITROSUCO

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

米国農務省が行った推定によると81/82農年における世界のかんきつ類生産量は44百万トンで79/80農年の47百万トン、80/81農年の45百万トンについて生産の減少が続いている。この様な世界生産の減少は米国フロリダ州のオレンジ園が最近たびたびの降霜による被害を受けたからである。

この様な北米の減産に対し南半球では前年比7%の生産増の中でもブラジルの記録的な生産が特徴される。ブラジル以外の生産国の中ではアルゼンチンが減産したほかはオーストラリア、南アフリカ連邦、チリー、ウルグアイのすべてにおいて増産が記録された。

同じく米国農務省の推定による生果の世界貿易量は前年をやや上回る6.75百万トンの取引きであった。これは地中海諸国とくにスペイン及びギリシャの輸出増に由来するものであり南半球の輸出も増加した。生果に反し

濃縮ジュースの場合は81年に比してヨーロッパ通貨に対するドルの強気からヨーロッパ市場での需要は減少した。

世界のかんきつ栽培においては主に次の事項が観察される。

- (1) カリフォルニアの栽培地帯に果実みばえが発生し緊急な措置が必要とされた。これは主要市場の日本が輸入制限を行なうまでの問題に発展した。
- (2) フロリダ州では果実みばえの発生をおそれて植物衛生上の措置がとられた。
- (3) メキシコ産オレンジの米国市場への輸入が一時的に中止された。これはメキシコの太平洋岸のかんきつ園に病気が発見され、その徴候がカンクロ病に類似しているためである。米国では1947年以降かんくろに罹病したかんきつ樹の抜根が続けられている。(82年7月)
- (4) フロリダ州のオレンジ生産者が米国政府に対し、ブラジル産濃縮ジュースの輸入に対し課税金を課税するよう要求した。これら米国の生産者によるとブラジル製品はブラジル政府の不当な補助を受けた商品であるといふのが課税金要求の理由となっている。
- (5) 82/83農年のかんきつ生産については82年の6～7月にかけてスペインを襲った酷暑が果実の落果を促しており輸出用早生種の価格上昇を招いている。
- (6) 82年6月にオーストラリアでも降霜があったが生産に大きな影響はなかった。
- (7) モロッコでは乾燥が続いたため果実の形状が小さく、生産量は増加したが輸出は減少した。
- (8) これとは逆にアルゼンチンでは果実及びジュースの生産は減少したが、ベソの切下げによる競争力強化のため輸出は前年に比して増加した。
- (9) 米国では2年間にわたる降霜によって深刻な被害を受けたため当時予想されていた生産量の166百万箱は25%の減産となって129.3百万箱の生産に終わった。(注.前年は172.4百万箱であった。)同国では降霜のほか寒波による被害もあった。これらの被害は果実の加工歩留りを落し、80/81農年産物の42°ブリックス126ガロン、今期収穫当初の予想142ガロンに対し128ガロンに落ちた。この結果フロリダ州での濃縮ジュースの生産量は大巾な減産となり、前年をやや下廻る供給量を維持するためブラジルより大量の輸入を必要とした。この輸入政策は81年以降とられているもので、原料の減産によるジュース消費価格の高騰を避け消費者の需要を維持していくことと工場生産設備の遊休化を防ぐことを目的としたものである。

ブラジルの輸出は少量の生果と濃縮ジュースに分けて行なわれている。前者が15百万ドル前後の輸出であるのに対し濃縮ジュースの輸出は60年代の後半より開始された新しい輸出項目であるが70年代に入ってより急速に拡大し米国フロリダ州が霜害による減収を招いた81年には7億ドル近い記録的な輸出を行なっており重要輸出品目に加えられている。82年度は81年に劣るもののこれも史上2番目の輸出額で6億ドル近い輸出が行なわれた。輸出市場は、生果においてオランダ及び中東諸国、濃縮ジュースは米国、オランダ、西独等を主要市場としている。この中で米国のシェアは圧倒的に大きく82年度でブラジルの濃縮ジュース輸出の57.2% (金額)を占めている。米国及びオランダの輸入は自国の消費にあてられるほか、いわゆるdraw-back方式のものでブラジルよりの輸入原料を加工したのち再輸出される分を多く含んでいる。

表278 オレンジ：世界の主要生産国と生産量

1,000トン

国 別	1963	1973	1978	1979	1980	70~80増減	1981	1982
米 国	3,670	9,735	9,530	8,502	10,985	42%	9,694	7,178
ブ ラ ジ ル	2,000	4,020	6,680	8,200	8,869	11.1	9,302	10,281
ス ペ イ ン	1,560	2,080	1,740	1,633	1,730	(-) 1.3	1,693	1,700
イ タ リ ー	810	1,554	1,600	1,619	1,781	2.6	1,735	1,760
メ キ シ コ	1,100	1,466	650	1,280	1,630	1.7	1,600	1,690
イ ス ラ エ ル	525	1,252	910	959	892	(-) 0.2	753	912
ア ルゼンチン	510	783	650	706	704	(-) 1.2	668	600
モ ロ ッ コ	480	765	785	630	756	0.8	685	676
南アフリカ連邦	430	600	640	521	543	0.2	569	577
ギ リ シ ャ	280	391	425	480	335	3.3	527	690
エ ジ プ ト	260	770	670	843	1,050	5.1	921	895
オーストラリア	-	-	369	383	426	4.2	352	384
キ ュ ー バ	80	117	145	200	280	9.6	360	400

出所：USDA. FAO. IEA

表279 オレンジ：生果及びジュースの輸出推移

区 分	重 量 1,000トン					金 額 100万ドルFOB				
	1978	79	80	81	82	1978	79	80	81	82
生 果	45.4	89.6	82.3	59.7	70.1	7.0	17.5	14.8	14.3	17.0
ジュース	335.6	292.2	401.0	639.1	521.2	332.6	281.4	338.7	659.2	573.4
計	381.0	381.8	483.3	698.8	591.3	339.6	278.9	353.5	673.5	590.4

出所：CACEX

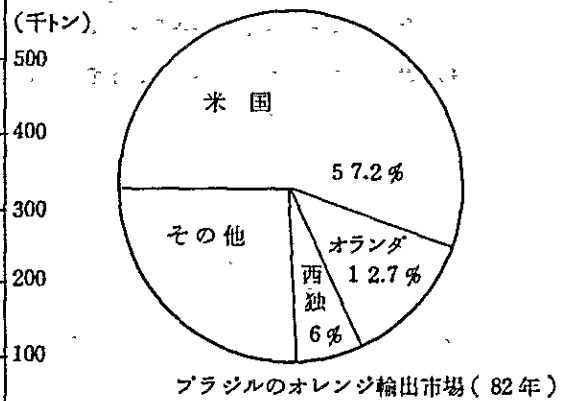
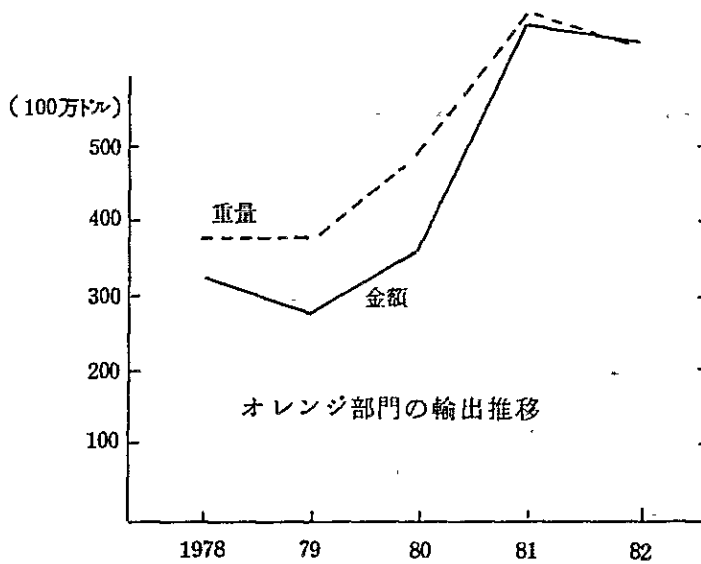


表280 オレンジ濃縮ジュースの輸出 1982年

輸出先国	重量 1,000トン	金額100万ドルFOB
米 国	298.0	328.2
オランダ	66.8	73.1
西 独	31.3	34.3
ベルギー	25.3	27.8
カナダ	19.8	21.7
英 国	16.9	18.6
スウェーデン	11.5	12.7
オーストラリア	10.8	12.0
ベネズエラ	8.8	9.7
イスラエル	5.9	6.4
フィンランド	5.7	6.2
日 本	5.3	5.9
そ の 他	15.1	16.8
計	521.2	573.4

出所：CACEX 関税番号20.07.0105

表281 オレンジ・ジュース輸出先国別実績(重量) 1,000トン

輸出先国	76	77	78	79	80	81	82
米 国	16.7	46.8	147.5	73.1	78.9	259.5	298.0
オランダ	67.3	53.2	43.6	58.2	107.1	183.5	66.8
西 独	43.5	31.4	29.4	39.2	66.2	63.8	31.3
ベルギー	4.4	2.1	1.8	3.9	4.7	2.1	25.3
カナダ	15.8	20.7	33.9	28.8	27.4	23.9	19.8
英 国	5.4	7.7	13.4	15.4	22.3	31.6	16.9
スウェーデン	18.3	19.4	19.0	17.6	21.3	14.6	11.5
そ の 他	38.4	32.2	47.0	56.0	73.1	579.0	51.6
計	209.8	213.5	335.6	292.2	401.0	639.1	521.2

出所：CACEX

ハ) 価 格

サンパウロ州の食卓用オレンジ小売価格(平均)及び生産者受取価格(平均)は次表の通りであった。

表282 オレンジ：食卓用小売価格 CR/1打

月別	1980	1981	1982
1	18.74	44.55	81.45
2	21.66	48.91	98.60
3	19.02	56.00	121.35
4	20.59	47.55	93.05
5	19.34	48.02	107.80
6	20.77	48.05	103.35
7	20.03	47.98	92.85
8	20.90	54.12	89.00
9	22.90	58.42	95.45
10	28.15	64.26	117.20
11	23.09	72.94	138.05
12	33.31	74.93	134.70

出所：I E A サンパウロ州の平均

表283 オレンジ：生産者受取価格 CR/40kg入箱

月別	1980	1981	1982
1	73.36	122.65	403.61
2	88.48	209.59	400.60
3	90.88	230.92	643.47
4	83.05	202.66	534.00
5	78.08	211.65	504.56
6	79.56	269.44	404.10
7	95.59	254.57	396.72
8	105.42	321.00	386.43
9	114.22	313.21	388.54
10	90.27	272.66	419.70
11	107.96	311.98	447.03
12	144.31	350.30	447.60

出所：I E A サンパウロ州の平均

ニ) 生産コスト

サンパウロ州農務局農業経済研究所が発表した、各造成年度別82/83農年及び83/84農年生産コストは次表の通りである。

表284 オレンジ：生産コスト 1ha当り200本植 第1年目 サンパウロ州

区 分		82/83		83/84	
A 作業コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
a)					
1) 一般労働力	2534	1,020	25,847	2,255	57,142
2) トラクター運転手	3.99	1,410	5,626	3,230	12,888
3) 4輪トラクター	3.99	7,534	30,060	19,498	77,797
4) 耕 起	0.37	422	156	1,332	493
5) 碎 土	0.50	931	466	2,891	1,446
6) 防 除	0.98	1,422	1,395	3,615	3,543
7) 運 搬	0.94	423	397	1,331	1,251
8) "	1.20	526	631	1,431	1,717
小 計	-	-	-	-	156,276
B 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 種 苗	220.00 U	175/ U	38,500	250/ U	55,000
2) 配合肥料追肥料	0.10 T	40,977/ T	4,098	90,952/ T	9,095
3) 硫 安 "	0.08 T	44,006/ T	3,520	109,629/ T	8,770

区 分	数 量	82/83		83/84	
		単 価	金 額	単 価	金 額
4) 石 灰	0.826 T	4,690/ T	3,874	8,756/ T	7,232
5) 殺 菌 剤	0.50 KG	1,335/KG	667	3,027/KG	1,514
6) 硫 黄	1.60 KG	520/KG	832	1,175/KG	1,880
7) 展 着 剤	0.75 L	732/ L	549	1,572/ L	1,179
8) 殺 虫 剤	200 L	3,093/ L	6,186	6,307/ L	12,614
9) ス プ レ ー 油	2.00 L	416/ L	832	821/ L	1,642
10) 殺 蟻 剤	3.00 KG	206/KG	618	530/KG	1,590
小 計	—	—	59,677	—	100,516
C 間 接 コ ス ト			124,253		256,792
1) 機 械 償 却 費			8,499		20,667
2) 銀 行 利 息 生 産 費			33,548		150,223
固定投資			2,243		12,173
合 計	—	—	168,543	—	439,856

出所：IEA

表285 オレンジ：生産コスト 第2年目 1haあたり200本植 サンパウロ州

区 分	数 量	82/83		83/84	
		単 価	金 額	単 価	金 額
A 作 業 コ ス ト	所 要 日 数				
1) 一 般 労 働 力	13.13	1,020	13,393	2,255	29,608
2) ト ラ ク タ ー 運 転 手	1.85	1,410	2,608	3,230	5,976
3) 4 輪 ト ラ ク タ ー	1.85	7,534	13,938	19,498	36,071
4) 耕 起	0.56	931	522	2,891	1,619
5) 碎 土	0.31	423	131	1,331	413
6) 防 除	0.98	1,422	1,393	3,615	3,543
小 計	-	-	31,985	-	77,229
B 資 材 コ ス ト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 種 苗	30.00 U	175/ U	5,250	250/ U	7,500
2) 配 合 肥 料 追 肥 料	0.10 T	40,997/ T	4,098	90,952/ T	9,095
3) 殺 菌 剤	1.00 KG	1,335/KG	1,335	3,027/KG	3,027
4) 硫 黄	2.00 KG	520/KG	1,041	1,175/KG	2,350
5) 展 着 剤	1.50 L	732/ L	1,098	1,572/ L	2,358
6) 殺 虫 剤	1.00 L	3,093/ L	3,093	6,307/ L	6,307
7) ス プ レ ー 油	4.00 L	416/ L	1,663	821/ L	3,284
8) 殺 蟻 剤	3.00 KG	206/KG	618	530/KG	1,590
小 計	—	—	18,195	—	35,511

区 分	所要日数	82/83		83/84	
		単 価	金 額	単 価	金 額
C 間接コスト			50,180		112,740
1) 機械償却費			4,594		11,191
2) 銀行利息生産費 固定投資			13,549		65,953
			1,149		6,366
合 計			69,472		196,251

出所：IEA

表286 オレンジ：生産コスト 第3年目 1ha当り200本植 サンパウロ州

区 分	所要日数	82/83		83/84	
		単 価	金 額	単 価	金 額
A 作業コスト					
1) 一般労働力	15.14	CR 1,020	CR 15,423	CR 2,255	CR 34,141
2) トラクター運転手	2.18	1,410	3,074	3,230	7,041
3) 4輪トラクター	2.18	7,534	16,424	19,498	42,506
4) 耕 土	0.61	931	568	2,891	1,764
5) 運 搬	0.41	423	173	1,331	546
6) 防 除	1.16	1,422	1,649	3,615	4,193
小 計	-	-	37,331	-	90,190
B 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 配合肥料追肥用	0.275 T	40,977/ T	11,269	90,552/ T	25,012
2) 殺 菌 剤	2.00 KG	1,335/KG	2,670	3,027/KG	6,054
3) 硫 黄	5.00 KG	520/KG	2,601	1,175/KG	5,875
4) 展 着 剤	2.30 L	732/ L	1,684	1,572/ L	3,616
5) 殺 虫 剤	3.00 L	3,093/ L	9,280	6,307/ L	18,921
6) スプレー油	2.26 L	416/ L	940	821/ L	1,855
7) 殺 蟻 剤	3.00 KG	206/KG	618	530/KG	1,590
小 計	-	-	29,061	-	62,923
C 間接コスト			66,392		153,113
1) 機械償却費			5,392		13,160
2) 銀行利息生産費 固定投資			17,926		89,571
			1,350		7,499
合 計	-	-	91,059	-	263,343

出所：IEA

表287 オレンジ：生産コスト 1ha200本植の場合

サンパウロ州

区 分		82/83		83/84	
A 作業コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 一般労働力	22.76	1,020	23,215	2,255	51,324
2) トラクター運転手	2.60	1,410	3,666	3,230	8,398
3) 4輪トラクター	2.60	7,534	19,588	19,498	50,695
4) 耕 起	0.66	931	615	2,891	1,908
5) 砕 土	0.62	423	262	1,331	825
6) 防 除	1.32	1,422	1,877	3,615	4,772
小 計	—	—	49,223	—	117,922
B 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 配合肥料	0.40 T	40,977/T	16,391	90,952/T	36,381
2) 石 灰	0.826 T	4,690/T	3,874	8,756/T	7,232
3) 殺菌剤	4.00 KG	1,335/KG	5,339	3,027/KG	12,108
4) 硫 黄	8.00 KG	520/KG	4,162	1,175/KG	9,400
5) 展着剤	3.00 L	732/L	2,196	1,572/L	4,716
6) 殺虫剤	4.00 L	3,093/L	12,373	6,307/L	25,228
7) スプレー油	8.00 L	416/L	3,326	821/L	6,568
8) 微量成分 亜鉛	14.72 KG	365/KG	5,373	498/KG	7,331
9) 殺蟻剤	3.00 KG	206/KG	618	530/KG	1,590
小 計	—	—	53,652	—	110,554
C 間接コスト			102,875		228,475
1) 機械償却費			6,320		15,441
2) 銀行利息生産費			27,776		133,658
・ 固定投資			1,591		8,839
合 計	—	—	138,562	—	386,413

出所：IEA

表288 オレンジ：生産コスト 1haあたり200本400箱生産の場合

区 分		82/83		83/84	
A 作業コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 一般労働力	24.60	CR 1,020	CR 25,092	CR 2,255	CR 55,473
2) トラクター運転手	430	1,410	6,063	3,230	13,889
3) 4輪トラクター	306	7,534	23,054	19,498	59,664
4) 砕 土	083	931	773	2,891	2,400
5) 運 搬	1.03	423	435	1,331	1,371
6) 防 除	1.20	1,422	1,706	3,615	4,338
小 計	-	-	57,123	-	137,134
B 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 配合肥料	0.515 T	40,977/T	21,103	90,952/T	46,840
2) 石 灰	0.605 T	4,690/T	2,837	8,756/T	5,297
3) 微量成分	2280 KG	426/KG	9,724	717/KG	16,348
4) 乳 劑	8.00 L	416/L	3,326	821/L	6,568
5) 殺 菌 劑	4.30 KG	1,164/KG	5,007	2,501/KG	10,754
6) 硫 黄	1660 KG	520/KG	8,637	1,175/KG	19,505
7) 殺 虫 劑	10.30 L	2,482/L	25,565	5,600/L	57,680
8) 展 着 劑	2.90 L	732/L	2,122	1,572/L	4,559
9) 殺 蟻 劑	3.00 KG	206/KG	618	530/KG	1,590
10) ハイ駆除剤	5.00 L	2,179/L	10,895	4,406/L	22,030
11) 殺 虫 劑	0.45 L	3,188/L	1,434	6,339/L	2,853
小 計	-	-	91,271	-	194,024
C 間接コスト			148,394		331,158
1) 機械償却費			7,065		17,132
2) 果樹園償却費			19,088		53,493
3) 銀行利息生産費			40,066		193,728
・ 固定投資			1,811		9,911
合 計	-	-	216,424	-	605,422

出所：IEA

3.6.2 バ ナ ナ

イ) 生 産

表 289 バナナ：81/82生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量100万房	単収 房/kg	%
1	バ イ ア	54.2	75.2	1,386	16.4
2	セ ア ラ	29.7	40.9	1,375	9.0
3	サ ン バ ウ ロ	39.7	40.7	1,027	9.0
4	ゴ ヤ ス	36.8	35.9	975	8.0
5	ミナス・ジェライス	33.1	34.5	1,041	7.5
6	サンタ・カタリーナ	21.5	32.2	1,500	7.0
7	リオ・デ・ジャネイロ	30.7	31.1	1,011	7.0
8	ベルナンブコ	17.8	30.0	1,683	6.5
9	ロ ン ド ニ ア	27.1	24.3	897	5.3
10	エスピリト・サント	23.2	19.9	859	4.3
11	パ ラ イ ー バ	8.9	14.2	1,596	3.1
12	パ ラ ー	12.1	14.2	1,167	3.1
13	マ ラ ニ ヨ ン	9.1	11.0	1,208	2.4
14	ア ラ ゴ ア ス	9.0	10.4	1,147	2.3
15	マツト・グロッソ	12.9	9.7	751	2.1
16	パ ラ ナ	4.9	7.8	1,580	1.7
17	リオ・グランデ・ス ール	7.1	5.5	768	1.2
18	ア ク レ	4.0	4.8	1,200	1.0
19	リオ・グランデ・ノ ルテ	3.1	4.5	1,453	1.0
20	ビ ア ウ イ	3.4	4.2	1,228	1.0
21	マツト・グロッソ・ スール	2.0	2.8	1,383	0.6
22	セ ル ジ ッ ベ	2.4	2.4	1,002	0.5
23	ア マ ゾ ー ナ ス	2.5	1.9	770	0.4
24	ロ ラ イ マ	0.8	0.5	624	-
25	ブ ラ ジ リ ア	0.4	0.4	1,000	-
26	ア マ パ ー	0.2	0.3	1,403	-
	全 国 計	396.9	459.3	1,157	100.0

出所：IBGE

バナナの栽培は全国に普及しているので最大の生産地としてのパイヤ州も全国生産の16%のシェアを占めるに過ぎない。東北地方ではパイヤ州に次いでセアラ州の生産が大きく、セアラ州とほぼ同規模の生産を行っているサンパウロ州は南東、南部地方最大の生産地帯である。各地で栽培されるバナナは地方の消費用に向けられており海外市場への販売比率はサンパウロ州が圧倒的に高く同州のバナナ栽培は全国のバナナ栽培地帯の中でもっとも重要な立地にある。サンパウロ州内の生産地帯は南部海岸地帯中でもレジストロ市を中心としてバナナ栽培の密集地帯がある。同地方は日系農家を中心とした茶の栽培と共にバナナ栽培を地方経済の主体としているが全般に低地帯であ

るため地域の中を流れるイグアッペ川の洪水による被害をしばしば受けており、他の作物に転向する農家が多い。

表290 バナナ：生産推移 100万房

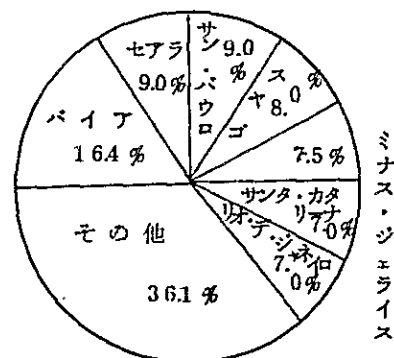
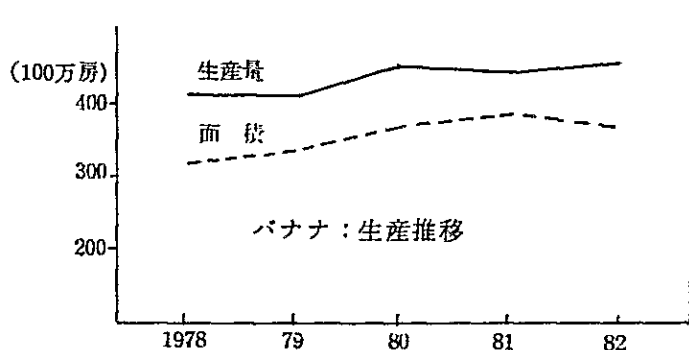
州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
バ イ ヤ	38	48	63	70	75
セ ア ラ	68	68	46	30	41
サ ン バ ウ ロ	54	37	41	43	41
ゴ ヤ ス	23	26	27	33	36
ミナス・ジェライス	35	32	34	36	34
そ の 他	198	197	243	234	233
全 国 計	416	408	454	446	460

面 積 1,000ha	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
	328	344	374	387	370

表291 バナナ：単収推移

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
バ イ ヤ	1200	1,328	1,360	1,376	1,388
セ ア ラ	1,875	1,875	1,250	1,000	1,375
サ ン バ ウ ロ	1,874	1,045	1,158	1,216	1,027
ゴ ヤ ス	910	1,000	1,000	976	975
ミナス・ジェライス	1,076	1,077	1,141	1,098	1,041

出所：IBGE



81/82 生産分布

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

世界のバナナ生産はラテン・アメリカに集中しており、1976-80年間の平均で世界生産の30%近くを占めている。またその輸出量は世界輸出量の80%に相当する。バナナ生産の中心となっているエクアドル、ホンジュラス、パナマではバナナの輸出収入が最大の外貨獲得源となっている。

ブラジルは世界最大のバナナ生産国で世界生産の17%を占めているが国内消費が大きいのと輸出条件を備えていないため生産量に対する輸出量の比率は早々減少しており、1979年の1.8%より最近では1%に落ちている。輸出先市場もアルゼンチン、ウルグアイ両国に限定されており、ヨーロッパのバナナ市場には参加していない。

表292 ブラジルのバナナ輸出推移

年度	重量1000トン	金額100万ドル
1978	132.5	23.5
79	128.5	24.5
80	67.3	11.2
81	66.7	12.7
82	59.2	10.5

出所：CACEX

上表にみられる通りブラジルのバナナ輸出は年々減少しつつある。これは唯一の市場であるラブラタ市場がエクアドル産品に押されているためである。重要輸出品目としては国の強力な援護を受けているエクアドルのバナナは形状が揃い、見かけがよく価格面、取引面でも輸入側にとって有利な条件を与えているため、形状が揃いで見かけの悪いブラジル産品は常に2級品の取扱いを受けている状況にある。ラブラタ市場へのエクアドルの攻勢はすでに70年代の中期より始っており、この頃からブラジルの輸出が後退し始めたため輸出入出荷梱包の統一、品質検査等の措置が構じられてきたが統計にみる限りその効果はあがっていない。

輸出平均価格は78年度のトンあたり、US\$177.36より81年にはUS\$190.40に上ったが82年には78年と全く同水準に戻っている。

世界的にバナナの消費量は減少しており世界の輸出货量もこれに応じて減少している。

表293 1982年のバナナ輸出

輸出先国	重量1000トン	金額100万ドル
アルゼンチン	337	6.5
ウルグアイ	25.4	4.0
その他	0.1	-
計	592	10.5

出所：CACEX 関税番号08.01.02.01

表294 サンパウロ州の輸出货量

1,000箱

月別	アルゼンチン向				ウルグアイ向			
	1978	1979	1980	1981	1978	1979	1980	1981
1	465	454	237	138	7	-	49	57
2	414	503	204	193	5	-	51	51
3	561	571	174	152	20	76	28	76
4	411	676	212	180	-	142	57	80
5	536	586	260	212	46	59	60	96
6	356	459	225	100	86	69	67	80
7	329	422	132	52	109	19	26	68
8	369	331	125	136	185	53	50	88
9	277	270	194	90	76	34	50	64
10	352	312	74	106	57	44	61	48
11	454	372	87	116	-	17	57	68
12	579	200	140	108	-	21	67	76
計	5,103	5,156	2,064	1,583	591	534	623	852

出所：IEA

へ) 国内市場価格

表 295 バナナ：生産者受取価格

月別	1980	1981	1982
1	73.01	143.99	305.09
2	74.45	134.52	319.60
3	75.94	135.50	286.98
4	81.15	153.36	297.97
5	70.23	164.67	280.68
6	62.45	170.04	282.10
7	70.45	167.40	260.52
8	81.95	193.16	233.97
9	109.89	227.60	263.90
10	110.55	239.17	296.80
11	121.29	335.17	372.51
12	146.59	350.96	409.80

出所：IEA サンパウロ州平均価格

表 296 バナナ：小売価格 CR/1打

月別	1980	1981	1982
1	1258	2980	5955
2	1313	2962	7150
3	1260	3000	7250
4	1409	3175	7270
5	1319	3171	7375
6	1349	2956	7330
7	1297	3334	7035
8	1517	3462	6820
9	1697	3813	6990
10	2088	4131	7455
11	2269	4825	7770
12	2550	5450	8785

出所：IEA ナニカ種 サンパウロ州平均価格

ニ) 生産コスト

表 297 バナナ：生産コスト 1ha 2200本植 30トン生産の場合 レジストロ地区

区 分		82/83		83/84	
A 作業コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
a)		CR	CR	CR	CR
1)	71.67	957	68,588	2,395	171,650
2)	51.2	1,580	8,090	3,195	16,358
3)	4.87	7,534	36,690	19,498	94,955
4)	2.61	423	1,103	1,331	3,474
5)	200	554	1,108	1,149	2,298
6)	0.13	352	46	782	102
7)	0.25	8,108	2,027	19,089	4,772
	—	—	117,652	—	293,609
B 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1)	220 T	54,206/T	119,253	148,969/T	327,732
2)	225.00 L	239/L	53,797	485/L	109,125
3)	66.00 KG	548/KG	36,168	1,367/KG	90,222
4)	35.00 M3	65/M3	2,275	350/M3	12,250
5)	70.00 DZ	98/DZ	6,860	500/DZ	35,000
6)	11.00 L	2,423/L	26,764	5,550/L	61,050
	—	—	245,118	—	635,379
C 間接コスト			362,770		928,986

区 分		82/83		83/84	
C 間接コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
1)			9,230		22,424
2)			114,272		543,458
			2,664		13,797
合 計			448,937		1,508,667

出所：IEA

3.6.3 ブドウ

1) 生産及販売

表298 ブドウ：81/82農年生産実績

順位	州 別	面積 1000ha	生産量1000トン	単収 kg/ha	%
1	リオ・グランデ・ド・スール	38.7	430.0	11,116	62.4
2	サンパウロ	10.3	149.0	14,484	21.6
3	サンタ・カタリーナ	5.1	80.5	15,852	11.7
4	バラナ	2.2	19.2	8,734	2.8
5	ベルナンブロ	0.5	6.4	12,290	0.9
6	ミナス・ジェライス	0.6	2.6	4,298	0.4
	その他	0.1	0.9	-	0.2
	全 国 計	57.5	688.6	11,965	100.0

出所：IBGE

81/82農年の国内生産量は過去5ヶ年間で79年に次ぐ増産でその供給量は消費量をはるかに上回る水準に達しており原料価格に大きな影響があった。このような状況のもとで政府はCFP（生産融資公社）を通じ生産者より最低保証価格で直接買上げる措置をとったがこのためサンタ・カタリーナ州やリオ・グランデ・ド・スール州では買上げ品による記録的なストックが形成された。しかし82/83年についてはとくにリオ・グランデ・ド・スール州において天候不順による不作が見込まれているので前年の豊作と合せ、需給が調整される見通しである。ブドウ酒の原料となるブドウは、高級種と普通種に分けられ、高級種のブドウ酒製造は高度の技術と宣伝に大型の投資を必要とするため多国籍企業や大型の協同組合によって行なわれており、普通種のブドウ酒は中小企業や中小組合が製造している。また普通種よりはジュース原料のモストが製造される

表299 ブドウ：生産推移

単位：1,000トン

州 別	1978	79	80	81	82
リオ・グランデ・ド・スール	451	463	221	416	430
サンパウロ	133	149	149	146	149
サンタ・カタリーナ	57	65	44	75	81
その他	26	27	32	24	
全 国 計	667	704	446	661	689
面積 1,000ha	58	60	57	57	58

表300 ブドウ単収推移

kg/ha

州 別	1978	79	80	81	82
リオ・グランデ・ド・スール	10,927	11,214	5,769	10,800	11,106
サンパウロ	14,456	14,765	14,608	13,832	14,484
サンタ・カタリーナ	14,179	13,162	8,737	14,345	15,852

出所：IBGE

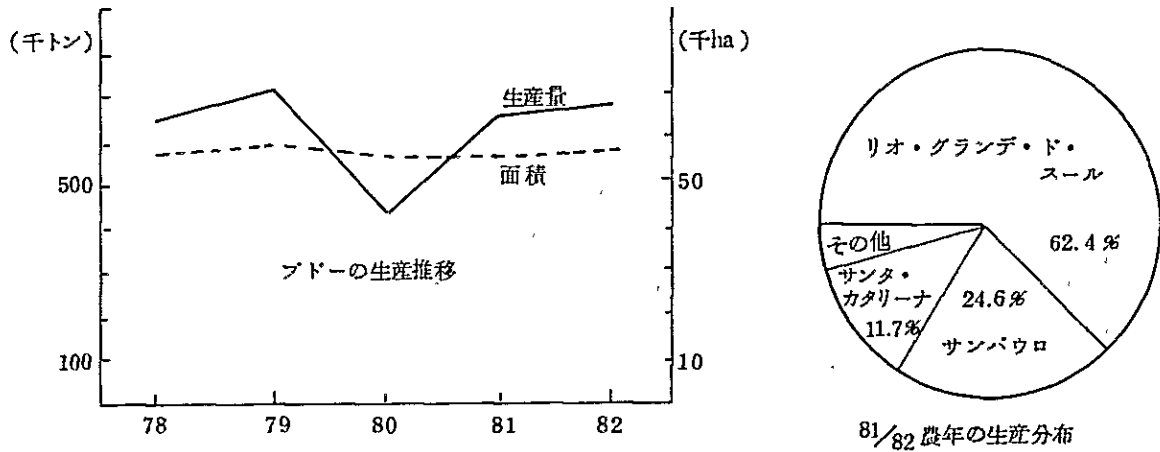


表301 ブドウ酒の需給、ストック

100万リットル

年度	ストック	生産量	小 計	販売量	蒸留用	その他	需要計
1973	133.4	153.2	286.6	154.4	24.3	10.8	189.5
74	97.1	267.8	364.9	127.1	45.3	14.3	186.7
75	178.2	265.3	443.5	145.3	68.5	16.2	230.0
76	213.4	197.6	411.0	188.6	60.2	14.2	263.0
77	147.9	259.8	407.7	192.5	45.1	12.2	249.8
78	157.4	277.7	435.1	196.0	53.0	29.3	278.3
79	156.8	291.8	448.6	210.9	53.8	17.4	282.1
80	166.5	199.6	366.1	181.2	17.2	16.6	215.0
81	151.1	288.0	439.1	178.0	20.3	29.4	227.7
82	211.4	329.7	541.1	218.0	29.8	26.5	224.3

出所：UVIBRA/CFP

ぶどうのしぼり粕（モスト）は国内市場向けジュースの原料及び輸出用濃縮ジュース原料として用いられる。この中前者は主に中小企業や組合によって製造され、後者は多国籍企業がその製造を行っている。

リオ・グランデ・ド・スール州産ブドウ酒の販売量は上表に示される通り1982年に218百万リットルの記録を作っているが79年にはすでに211百万リットルの販売量に達していたので、その後数年間の需要減退が回復し79年の水準に戻ったものと解決されている。とくに前年（81年）に対しては225%の増加であった。

79年から81年にかけてみられたブドウ酒販売量の減少は蒸留酒の製造にブドウ酒の使用度が減ったためであり、ブドウを原料とするコニャックが砂糖キビを原料とする製品にコスト上押され使用が減少したためとされている。また82年度にみられた需要の回復は普通種原料のブドウ価格が下がったことや、高級ブドウ酒ではマー

ケチングへの大型投資による消費の増加等を理由としている。

海外への輸出面では濃縮ジュースとして行なわれており、その販売はリオ・グランデ・ド・スール州のSUVALAN社によっている。輸出実績をみると1980年まで急速な成長をみたと81年に減少し82年に再び回復しており同年において2,600トンの輸出規模である。

表302 ブドージュースの輸出推移

年 度	重 量 トン	金額 1,000ドルFOB	単価US\$/トン
1978	1,858.5	1,778.5	956
79	2,440.6	2,716.0	1,113
80	2,816.3	3,310.9	1,176
81	2,139.4	2,464.9	1,152
82	2,591.8	2,797.1	1,079

出所：CACEX

ロ) 価 格

表303 ブドー：生産者受取価格（普通種）

CR/箱(8kg)

月別	1980	1981	1982
1	55.15	196.45	379.54
2	73.26	180.98	394.61
3	134.85	185.71	672.07
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11	514.87	1,159.91	1,612.86
12	320.26	422.15	665.26

出所：IEA サンパウロ州平均価格

表304 ブドー：サンパウロ市場小売価格

CR/kg

月別	1980	1981	1982
1	36.04	69.70	121.00
2	33.69	66.90	112.00
3	48.60	73.40	104.60
4	99.03	104.30	144.20
5	123.23	174.75	196.00
6	102.94	211.00	255.70
7	134.05		260.50
8	171.24		
9	262.94		
10	287.11		775.75
11	162.55	178.30	258.05
12	129.78	121.00	280.60

出所：IEA

ハ) 生産コスト

サンパウロ州農務局、農業経済研究所が発表した82/83農年及び83/84農年の生産コスト予想は次表の通りである。

表305 ぶどう(ニアガラ種)生産コスト: 1 haあたり5,400本植第1年目造成費 ジュンジャイ地方

区 分		82/83		83/84	
A 作業コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
a)		CR	CR	CR	CR
1) 一般労働力	15295	1,055	161,362	2,510	383,905
2) トラクター運転手	14.68	1,566	22,989	3,445	50,573
3) 4輪トラクター	14.68	7,534	110,598	19,498	286,231
4) 耕 起	122	422	515	1,332	1,625
5) 砕 土	0.61	931	568	2,891	1,764
6) み ぞ 掘	1285	1,160	14,906	5,172	66,460
7) 防 除	225	51	115	104	234
小 計	-	-	311,053	-	790,790
B 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 苗	4,000.01 U	90/U	360,001	150/U	600,002
2) 杭	5,400.00 U	2/U	11,502	5/U	27,000
3) 有機肥料(鶏糞)	1630 T	7,150/T	116,545	22,955/T	211,167
4) ・ (骨粉)	200 T	38,667/T	77,334	82,800/T	165,600
5) 石 灰	250 T	2,150/T	5,375	5,433/T	13,583
6) 殺 菌 剤	10.00 KG	1,388/KG	13,882	3,436/KG	34,360
7) 殺 虫 剤	200 L	2,889/L	5,778	8,100/L	16,200
8) 展 着 剤	0.50 L	732/L	366	1,572/L	786
小 計	-	-	590,782	-	1,068,697
C 間接コスト			90,1835		1,859,487
1) 機械償却費			40,999		138,806
2) 銀行利息生産費			243,496		1,087,800
・ 固定投資			9,871		66,295
合 計	-	-	1,196,200	-	3,152,388

出所: IEA

表306 ぶどう(ニアガラ種)生産コスト: 1 haあたり180箱収穫の場合(2年目) ジュンジャイ地方

区 分		82/83		83/84	
A 作業コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
a) 直 接		CR	CR	CR	CR
1) 一般労働力	28250	1,055	298,037	2,510	709,705
2) トラクター運転手	850	1,566	13,311	3,445	29,283
3) マイクロトラクター	850	1,596	13,565	4,069	34,587
4) 防 除	1300	51	663	104	1,352

区	分	82/83		83/84	
		所要日数	単 価	金 額	単 価
b) 請 負					
1) 追 肥			4,120		8,200
小 計	—	—	329,696	—	782,496
B 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) ARAPE	136.00 KG	228/KG	31,008	690/KG	93,840
2) 苗	53.00 U	735/U	38,955	2,340/U	124,020
3) *	213.00 U	78/U	16,614	260/U	42,600
4) 箱	180.00 CX	65/CX	11,700	210/CX	37,800
5) 石 灰	2.50 T	1,600/T	4,000	4,750/T	11,875
6) 配 合 肥 料	1.00 T	40,977/T	40,977	90,952/T	90,952
7) 有機肥料(骨粉)	2.00 T	38,667/T	77,334	82,800/T	165,600
8) 殺 菌 剤	30.00 KG	1,388/KG	41,646	3,436/KG	103,080
9) 殺 虫 剤	5.50 L	2,889/L	15,888	8,100/L	44,550
10) 展 着 剤	1.50 L	732/L	1,098	1,572/L	2,358
小 計	—	—	279,220	—	716,675
C 間接コスト			608,917		1,499,171
1) 機械償却費			4,095		10,431
2) 銀行利息生産費			164,407		877,015
* 固定投資			797		3,752
合 計	—	—	778,216	—	2,390,369

出所：IEA

表307 ぶどう(ニアガラ種)：生産コスト1haあたり3,100箱収穫の場合 サンパウロ州ジュンジャイ地区

区	分	82/83		83/84	
		所要日数	単 価	金 額	単 価
A 作業コスト					
a) 直 接					
1) 一般労働力	331.00	1,055	349,205	2,510	830,810
2) トラクター運転手	7.90	1,566	12,371	3,445	27,216
3) マイクロトラクター	7.90	1,596	12,607	4,069	32,145
4) 防 除	16.00	51	816	104	1,664
	—	—	375,000	—	891,835
b) 請 負					
1) 追 肥			4,120		8,200
小 計	—	—	379,120	—	900,035

区 分		82/83		83/84	
B 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 配合肥料	1.00 T	40,977/T	40,977	90,952/T	90,952
2) 有機肥料(鶏糞)	30.00 T	7,150/T	214,500	12,955/T	388,650
3) 殺菌剤	35.00 KG	1,380/KG	48,587	3,436/KG	120,260
4) 殺虫剤	6.00 L	2,889/L	17,333	8,100/L	48,600
5) 展着剤	2.00 L	732/L	1,464	1,572/L	3,144
6) 箱	3,100.00 CX	65/CX	201,500	210/CX	651,000
小 計	—	—	524,361	—	1,302,606
C 間接コスト			903,480		2,202,641
1) 機械償却費			4,205		10,509
2) 果樹園償却			94,678		269,977
3) 銀行利息生産費			243,940		1,288,545
4) ・ 固定投資			807		3,675
合 計	—	—	1,247,111	—	3,775,347

出所：IEA

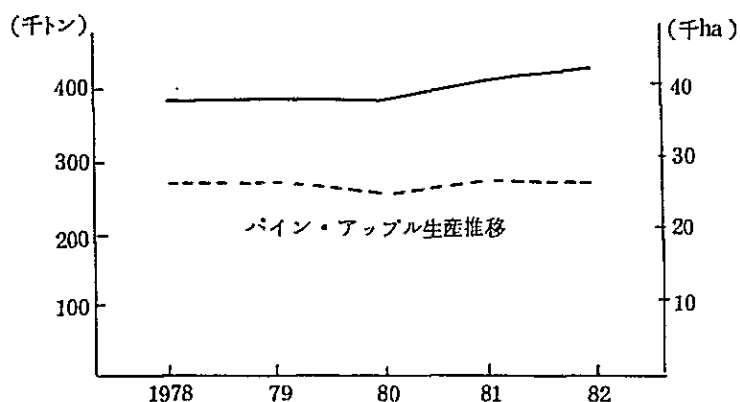
3.6.4 バインアップル

イ) 生 産

表308 バインアップル：81/82農年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 100万個	単収 個/ha	%
1	パラíba	7.3	160.9	21,955	36.2
2	ミナス・ジェライス	7.9	125.2	15,779	28.1
3	バ イ ア	3.2	39.3	12,332	9.0
4	サンパウロ	1.1	23.6	21,870	5.3
5	エスピリト・サント	0.6	18.9	33,139	4.2
6	ベルナンブコ	1.3	16.0	12,120	3.6
7	アラゴアス	0.5	9.3	18,976	2.1
8	リオ・グランデ・ド・ノルテ	0.4	8.9	20,063	2.0
9	ゴ ヤ ス	0.6	7.4	11,397	1.7
10	アマゾーナス	0.5	6.9	15,232	1.5
11	リオ・グランデ・ド・スール	0.9	6.4	6,979	1.4
12	リオ・デ・ジャネイロ	0.2	4.2	17,318	1.0
13	パ ラ ー	0.3	3.4	10,033	0.8
14	サンタ・カタリーナ	0.1	2.8	20,143	0.6
15	セルジッペ	0.1	2.8	14,878	0.6
16	マツト・グロソン・スール	0.1	1.8	10,142	0.4
17	マラニョン	0.1	1.2	7,169	0.3
18	マツト・グロソン	0.1	1.2	11,608	0.3
	そ の 他	0.1	4.7	-	0.9
	全 国 計	26.4	444.9	16,856	100.0

出所：IBGE



81/82 農年生産分布

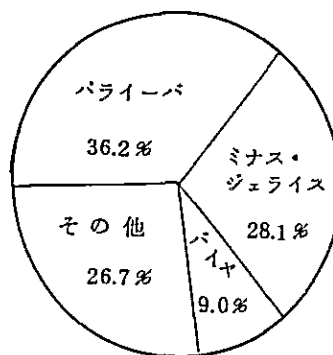


表309 パインアップル：生産推移

1,000トン

	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
パライーバ	108	124	112	142	161
ミナス・ジェライス	70	77	102	111	125
バイヤ	60	38	36	38	39
サンパウロ	27	27	21	21	24
エスピリト・サント	15	15	14	20	19
その他	103	105	92	82	77
全国計	383	386	377	414	445
面積 1,000ha	27	27	25	27	26

出所：IBGE

表310 パインアップル：単収推移

個/ha

州別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
パライーバ	17,814	18,277	18,498	19,154	21,955
ミナス・ジェライス	13,173	13,511	15,042	14,972	15,779
バイヤ	15,000	12,700	12,500	12,500	12,332
サンパウロ	19,330	20,782	20,192	21,785	21,870
エスピリト・サント	22,000	22,000	22,000	22,000	33,139

出所：IBGE

ロ) 市場及び価格

表311 パインアップル：輸出推移

年度	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1977	9.7	2.5
78	12.0	3.5
79	19.0	6.2
80	23.5	7.2
81	16.3	5.6
82	9.6	3.1

出所：CACEX

表312 パインアップル：1982年度の輸出

輸出先国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
アルゼンチン	7.3	2.3
スペイン	1.7	0.5
ウルグァイ	0.6	0.2
その他	-	0.1
計	9.6	3.1

出所：CACEX 関税番号080.10300

表313 バインアップル：生産者受取価格 100ヶ当り

月別	1980	1981	1982
1	4480.4	9550.6	34526.5
2	6159.1	15652.7	47074.2
3	6915.7	21640.0	61297.6
4	7290.8	23501.8	62447.2
5	7266.4	23208.8	62301.0
6	7140.1	22371.1	60011.1
7	7939.6	24029.6	-
8	6927.5	-	-
9	-	-	-
10	-	-	-
11	-	-	80547.8
12	-	34060.1	76119.5

出所：CACEX

表314 バインアップル：小売価格 1ヶ当り

月別	1980	1981	1982
1	19.03	40.27	83.40
2	20.22	50.06	82.70
3	22.65	62.34	107.30
4	26.85	58.10	112.50
5	26.08	59.00	112.95
6	27.64	66.40	125.25
7	25.13	59.16	124.40
8	26.99	69.74	122.65
9	28.15	69.09	126.10
10	31.17	69.65	144.60
11	32.91	83.51	138.35
12	37.83	78.75	152.40

出所：IEA サンパウロ市場

ハ) 生産コスト

表315 バインアップル：生産コスト 1haあたり

サンパウロ州パウルー地方

区 分		82/83		83/84	
A 作業コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 一般労働力	26.03	937	24,390	2,285	59,479
2) トラクター運転手	5.23	1,394	7,291	3,220	16,841
3) 4輪トラクター	5.23	7,534	39,403	19,498	101,975
4) 耕 起	1.03	422	434	1,332	1,372
5) 碎 土	0.50	931	466	2,691	1,446
6) 機 械 中 耕	3.20	275	880	544	1,741
7) 防 除	0.50	1,065	533	2,613	1,307
小 計	-	-	73,395	-	184,158
B 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 苗	15,000.00 U	5/U	75,000	10/U	142,500
2) 殺 虫 剤	100 L	2,989/L	2,989	7,371/L	7,371
3) 消 毒 剤	0.41KG	2,989/KG	1,226	7,371/KG	3,022
4) 配 合 肥 料	200 T	39,153/T	78,306	107,750/T	215,500
5) 除 草 剤	5.79KG	3,329/KG	19,275	7,680/KG	44,467
小 計	-	-	176,796	-	412,860
C 間 接 コ ス ト			250,192		597,019
1) 機 械 償 却 費			9,874		23,778
2) 銀 行 利 息 生 産 費			67,552		349,256
・ 固 定 投 資			2,729		14,319
合 計	-	-	330,346	-	984,372

出所：IEA

3.6.5 カジューナット

イ) 生産

ブラジルにおけるカジュー・ナットの生産は東北5州に集中し、この5州が全国生産の90%を占めている。中でも最大の生産地帯はセアラ州で、これにリオ・グランデ・ド・ノルテ、ピアウイ、バイア及びペルナンブコ州が続いている。カジューの栽培はその収穫と加工面で多くの労働力を吸収する点においてとくに重要な意義を持っている。

70年代の始めまでブラジルにおけるカジューの生産は自然林よりの採集産業の域を出ず、生産物の全部は天然又は半天然のものであった。このようにそもそもが採産産業であり、政府の関心も少なかったため、カジューに関する統計を不備としたまま今日にいたっている。カジューが本格的に栽培されるようになったのは1977年以降で、同年よりカジュー栽培がIBDF(ブラジル森林院)の融資の対象とされたことがきっかけとなっている。

栽培に関するデータについてはいまだに明確なものがなく不明であるが、CFP(生産融資公社)の資料によると1973年に66,000ヘクタールのカジュー園が生産段階に入り、1979年に168,000ヘクタール、81年には217,000ヘクタールに達したと報告されている。81年における上記栽培面積の中、約105,000ヘクタールはIBDFの税務恩典を利用して79-81年間にセカラ、ピアウイ、及びリオ・グランデ・ド・ノルテ各州に植付けられたものである。

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

81/82年度における世界のナット生産は主要生産国のインド及びタンザニアの不作により前年(367,974トン)を6%下廻る345,610トンに終わった。この様な世界生産の減少にもかかわらず東アフリカにおけるストック放出のためナットの価格は82年上半期中低調でUS\$250/ポンド以下であった。下半期も又10月以降ブラジルの米国市場向け輸出が集中したことや、米国市場の需要そのものが減少し、年末のクリスマスに例年みられる需要も低下したことなどから一部の種類では価格の急激な下落がみられた。

世界のナット生産の経験をみると最高潮に達したのは73/74より74/75年にかけて頃で75年には50万トンを超す生産が行なわれた。これは当時世界最大の生産国であったタンザニア及びモサニビクが両国だけで現在の世界生産に匹敵する33万トンの生産を行ったためであったが、75/76年に両国で起った内乱を契機として生産の減少が目立ち以後これらの国の社会主義政権による政策が生産物の円滑な流通を阻害したため生産者の意欲をそぎ以後生産の回復をみることなく今日にいたっている。

表316 世界のカジューナット生産量

年 度	イ ン ド	タンザニア	ケ ニ ア	モサニビク	ブラジル	そ の 他	世 界 計
73/74	81,320	137,227	25,413	213,465	30,495	5,083	493,003
74/75	91,485	142,310	30,495	188,052	60,990	5,083	518,415
75/76	106,733	86,403	20,330	121,980	45,743	5,083	386,272
76/77	101,650	86,403	13,215	91,485	45,743	5,083	343,579
77/78	121,980	76,238	5,083	60,990	71,155	5,083	340,529
78/79	121,980	66,073	10,165	66,073	66,073	5,083	335,447
79/80	116,898	50,825	18,297	71,155	66,073	5,083	328,331
80/81	132,145	60,990	15,248	71,155	76,238	12,198	367,974
81/82	127,062	45,743	18,297	60,990	81,320	12,198	345,610

出所: EDIBLE NUT MARKET REPORT N 110/CFP

ブラジルのカシュー・ナット輸出はナットそのものとナットより抽出した液体の形で行なわれ米国がほとんど全面的な輸入市場となっている。輸出の推移をみると量、金額ともに伸びており、76年頃の2千万ドル以下の輸出規模より81年には約8千万ドル近い記録を作ったあと82年に重量では更に81年を上廻ったものの国際価格の下落から金額では7千万ドル以下に終わっている。

表317 カシュー・ナット及び加工品の輸出

区 分	重 量 トン	金額 1,000ドルFOB	単価 US\$/トン
1980年			
カシュー・ナット(殻つき)	50	53	1,051
" (殻なし)	14,501	69,123	4,767
" 液 体	7,955	7,262	913
小 計	22,506	76,438	6,731
1981年			
カシュー・ナット(殻つき)	-	-	-
" (殻なし)	15,528	78,495	5,050
" 液 体	11,071	4,020	363
小 計	26,599	82,515	5,413
1982年			
カシュー・ナット(殻つき)	3	9	3,308
" (殻なし)	17,254	67,212	3,896
" 液 体	6,781	1,402	207
小 計	24,038	68,623	7,411

出所：CACEX

表318 カシュー・ナットの輸出 1982年

輸出先国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
米 国	12.7	49.2
カ ナ ダ	0.6	2.8
そ の 他	4.0	15.2
(日 本)	(0.2)	(0.8)
計	17.3	67.2

出所：CACEX 関税番号08010602

ブラジル・ナットの輸出 1982年

輸出先国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
英 国	2.9	9.5
米 国	1.9	5.8
そ の 他	1.1	3.3
計	5.9	18.6

出所：CACEX 関税番号08010503

3.7 野菜

3.7.1 ジャガイモ

イ) 生産

表319

ジャガイモ：81/82農年生産実績

順位	州別	面積 1,000 ha	生産量 1,000 トン	kg/ha	%
1	パラナ	50.5	598.6	11,862	28.0
2	サン・パウロ	31.9	573.3	17,948	26.7
3	ミナス・ジェライス	32.1	542.7	16,921	25.3
4	リオ・グランデ・ド・スール	45.6	245.0	5,376	11.4
5	サンタ・カタリーナ	19.0	160.8	8,481	7.5
6	ブラジリア	0.4	7.1	18,033	0.3
7	バイア	0.6	6.2	10,333	0.3
8	リオ・デ・ジャネイロ	0.6	4.9	8,321	0.2
9	エスピリト・サント	0.4	4.7	11,129	0.2
10	パライバ	0.9	4.6	5,309	0.2
	その他	0.2	0.1	5,476	
	全国計	181.9	2,147.9	11,808	100.0

出所：IBGE

ブラジルのジャガイモ栽培は冬期、雨期及び乾期の3期に分かれて行なわれる。全国の生産分布はパラナ州、サンパウロ州及びミナス・ジェライス州がほぼ同率で全国生産の80%を占め、リオ・グランデ・ド・スール及びサンタ・カタリーナ両州がこれに続くほかは僅少な生産量である。

サン・パウロ州のジャガイモ栽培についてみると気候が適しているために栽培面積が増加しており、更に技術の向上と資本の投下によって単収の増加が顕著であり、ブラジリアと共に全国最高の生産性を示している。しかし州内の地域別では大サン・パウロ圏やバーレ・ド・パライバ (VALE DO PARAIBA) 地方では工場の進出や観光用土地価格の上昇から農地面積が縮小しており、ジャガイモ栽培もその影響を受けている。

大サン・パウロ圏では近年来生産性がいちじるしく向上し、17.4~18トン/haに達して約3万トンの生産が行なわれており、またバーレ・ド・パライバ地方では1ヘクタール当り13~15トンの単収で18千トン前後の生産である。このほか州内の主要生産地であるカンピーナス (CAMPINAS) 地方では冬期栽培が70年代に普及し、生産性も過去3ヶ年間に1ヘクタール当りの単収が14~16トンに伸び、3~4万トンの生産量に達している。またソロカバ (SOROCABA) 地方においては面積の急速な増加があり51~59千トンの生産量で単収は州内最高の20トン/haに達している。栽培品種はリーザ (LISA) 種が圧倒的に多い。

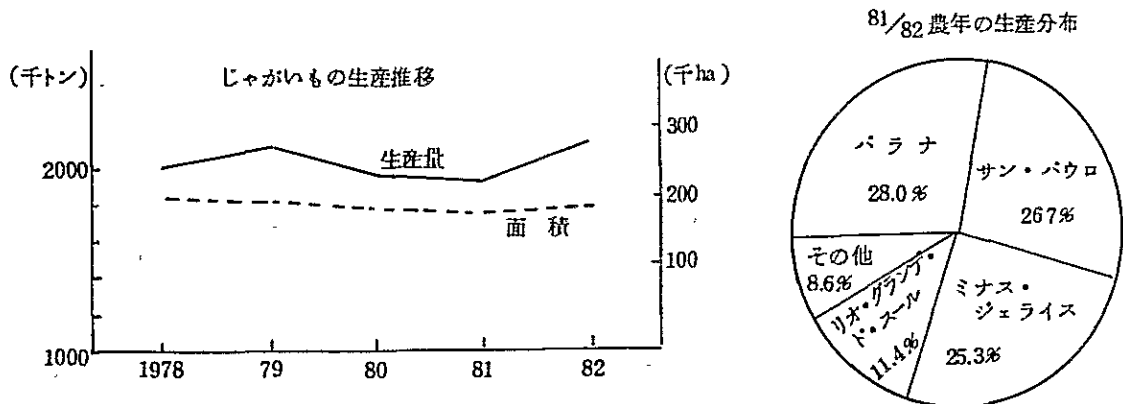


表320

ジャガイモ：生産推移

1,000トン

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
パ ラ ナ	701	616	522	459	599
サ ン ・ バ ウ ロ	440	520	514	496	573
ミナス・ジェライス	345	405	456	492	543
リオ・グランデ・ド・スール	391	417	300	289	245
サンタ・カタリーナ	116	173	143	152	161
そ の 他	21	23	13	21	27
全 国 計	2,014	2,154	1,948	1,909	2,148

面 積 1,000 ha	211	204	182	171	182
--------------	-----	-----	-----	-----	-----

出所：IBGE

表321

ジャガイモ：単 収

kg / ha

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
パ ラ ナ	11,012	11,214	12,239	11,749	11,862
サ ン ・ バ ウ ロ	13,712	16,348	18,010	16,857	17,948
ミナス・ジェライス	12,081	12,852	14,111	14,562	16,921
リオ・グランデ・ド・スール	5,955	6,629	5,343	6,036	5,376

出所：IBGE

雨期収穫のジャガイモ栽培は従来、パラナ州やリオ・グランデ・ド・スール州で盛んに行われていたが最近では乾期及び冬期収穫の比率が高まってきており、雨期収穫の栽培地帯はミナス・ジェライス州へ移行しつつある。サン・パウロ州では相変わらず雨期の収穫が大きく中でもソロカバ地域が州内生産の50%、大サン・パウロ圏23%、カンピーナス地域20%の比率となっている。サン・パウロ州内における乾期収穫は従来の集中地帯であった大サン・パウロ圏よりソロカバ地方に移転しつつあるのが観察される。現在ソロカバ地方の乾期栽培は州内乾期栽培の55%を占めており、大サン・パウロ圏が22%、カンピーナス地方は10%程度である。

乾期収穫ジャガイモ栽培の問題点は植付から成長期にかけて雨期後の長期乾燥に見舞れ、また根の結実期に降雨過剰に影響を受けることである。

ロ) 市場及び価格

ジャガイモはブラジルの農作物の中でも価格変動のはげしい作物でその栽培農家の中には、いわゆるジャガイモ景気で成功するものや価格の下落や不作によって多額の投下資金が回収出来ず破産するものが出るなど、極めて投機性の強い作物といえる。価格の変動に大きな影響を与える供給量の増産、つまり生産量の増減は生産者の思惑による栽培面積の増減のほか天候上の問題、とくに降霜による暴発的被害が影響する。前年の例では通常、冬期栽培の供給が圧倒的に多くなる7-11月の期間の中、当初の7月に降霜があったため9月以降の供給量を減らし、収穫期の終り頃ようやく供給が正常化されている。この間供給量が不足した時点で価格の上昇がみられたが、全般的な採算はソロカバ地方において若干の黒字、大サン・パウロ圏では辛うじてコストをカバー、ただしこれらの地方では栽培形態が多様化されているため、ジャガイモの損失は他の作物によってカバーされている。

サン・パウロ市場における最近の特徴としては、供給量のわずかな増加が価格の低下を引き起していることで、ジャガイモの消費が減退していることを示す現象とみられている。これは、消費者の所得の低下や市場に出廻っ

ている品種が消費者の好みを満足していないことなどを理由としている。

供給の円滑化を図る方法としては、冷凍保存の方法が供給面に効果を表わしつつある。この貯蔵に対する融資は現在1ヶ年を限度として行なわれているが、これが拡大される場合、年間の平均した供給を可能とし、価格の安定化に役立つものと考えられている。

表322 ジャガイモ：生産者受取価格 CR/60kg

月別	1980	1981	1982
1	340.90	1,766.00	1,313.00
2	353.40	1,520.70	1,207.30
3	426.60	1,495.90	1,603.70
4	492.80	1,719.40	1,664.40
5	859.40	1,842.50	1,593.10
6	892.00	1,917.60	2,227.30
7	1,467.50	1,670.60	2,121.80
8	1,630.90	1,997.70	2,205.20
9	1,555.30	1,608.20	2,101.13
10	1,891.20	2,048.70	2,361.09
11	1,941.40	2,009.70	2,244.30
12	1,768.60	1,476.00	2,237.20

出所：IEA サン・パウロ州の場合

ハ) 生産コスト

サン・パウロ州農務局農業経済研究所が発表した81/82農年及び82/83農年の生産コストは次表の通りである。

表323 ジャガイモ：生産コスト 1haあたり313俵(60kg)雨期収穫の場合 ソロカバ地区

項目	作業日数	80/81		81/82	
		単価	金額	単価	金額
A. 作業コスト	日	CR	CR	CR	CR
a)					
1)	51.45	1,170.	56,955.	2,335.	120,136.
2)	8.76	1,416.	12,404.	3,445.	30,178.
3)	8.76	7,534	65,967.	19,498.	170,802.
4)	0.61	561.	342.	1,582.	965.
5)	1.27	422.	563.	1,332.	1,692.
6)	0.19	680.	129.	1,560.	296.
7)	0.68	931.	633.	2,891.	1,966.
8)	0.33	275	91.	544.	180.
9)	0.43	275.	118.	544.	234.
10)	2.05	1,244.	2,550.	1,969.	4,036.
11)	2.20	6,500.	14,299.	16,852.	37,074.
12)	2.19	423.	925.	1,331.	2,915.
13)	0.53	1,244.	659.	2,862.	1,517.
14)	0.47	961.	452.	2,331.	1,096.
小計		-	156,092.	-	373,087.
B. 生産資材コスト	所要量	単価	金額	単価	金額
1)	1,560.00kg	83./kg	129,948.	333./kg	519,480
2)	1.97 T	2,000./T	8,940.	4,750./T	9,358.
3)	4.26 T	39,333./T	167,559.	103,278./T	439,964.

4)	16.00 kg	613./kg	9,811.	891./kg	14,256.
5)	33.20 kg	5,598./kg	185,870.	12,768./kg	423,898.
6)	20.30 kg	1,599./kg	32,456.	2,887./kg	58,606.
7)	67.91 kg	137./kg	9,304.	517./kg	35,109.
8)	29.19 L	2,904./L	84,779.	6,245./L	182,292.
9)	2.24 L	732./L	1,640.	1,572./L	3,521.
10)	313.00 U	150./U	46,950.	300./U	93,900.
11)	2.03 kg	3,329./kg	6,758.	7,680./kg	15,590.
小計	—	—	679,014.	—	1,795,974.
C. 間接コスト			835,106.		2,169,061.
1)			23,867.		65,380.
2)			112,739.		634,450.
			6,354.		36,693.
合計 CR	—	—	978,065.	—	2,905,584.

出所：IEA

表 324 ジャガイモ：生産コスト 1haあたり149俵(60kg)雨期収穫の場合 カンピナス地区

項	目	80/81		81/82	
		単価	金額	単価	金額
A.	作業日数	CR	CR	CR	CR
a)	日				
1)	70.98	1,055.	74,884.	2,510.	178,160.
2)	20.30	121.	2,452.	205.	4,162.
3)	2.11	46.	97.	62.	131.
4)	1.48	41.	60.	48.	71.
5)	1.01	22.	23.	42.	42.
6)	2.27	22.	51.	42.	95.
7)	2.91	51.	148.	104.	303.
8)	3.28	45.	146.	111.	364.
小計	—	—	77,862.	—	183,328.
B.	所要量	単価	金額	単価	金額
1)	1,170.00 kg	83./kg	97,461.	333./kg	389,610.
2)	1.45 T	39,333./T	57,033.	103,278./T	149,753.
3)	2.48 kg	613./kg	1,521.	891./kg	2,210.
4)	6.54 kg	5,598./kg	36,614.	12,768./kg	83,503.
5)	0.96 L	2,904./L	2,788.	6,245./L	5,995.
6)	149.00 U	150./U	22,350.	300./U	44,700.
小計	—	—	217,767.	—	675,771.
C.			295,629.		859,098.
1)			1,694.		3,415.
2)			39,910.		251,286.
			275.		1,317.
合計	—	—	337,508.	—	1,115,117.

出所：IBGE

3.7.2 トマト

イ) 生産

表 325

トマト：81/82 農年の生産実績

順位	州 別	面積 1,000 ha	生産量 1,000 トン	単 収 kg/ha	%
1	サン・パウロ	23.2	826.0	35,603	47.5
2	ベルナンブコ	9.0	215.5	24,960	12.4
3	ミナス・ジェライス	4.4	159.4	36,265	9.2
4	バイヤ	3.4	95.4	27,912	5.5
5	リオ・デ・ジャネイロ	2.4	92.3	38,240	5.3
6	ゴヤス	1.3	56.3	42,000	3.2
7	パライーバ	2.0	56.0	30,616	3.2
8	リオ・グランデ・ド・スール	3.6	47.4	13,259	2.7
9	パラナ	1.1	46.5	43,050	2.7
10	サンタ・カタリーナ	1.4	39.0	27,718	2.2
11	エスピリト・サント	1.0	37.4	45,650	2.1
12	セマラ	1.1	27.5	23,929	1.6
13	マラニョン	0.5	12.1	25,555	0.7
14	ジストリト・ヘデラル	0.2	9.4	50,000	0.5
15	セルジープ	0.2	4.0	16,624	0.2
16	マツ・グロツ・ド・スール	0.1	3.6	27,083	0.2
17	マツ・グロツ	—	2.2	26,549	0.1
	その他	0.2	9.5	—	—
	全 国 計	55.1	1,739.5	37,545	100.0

出所：IBGE

トマトの生産地帯は大消費都市や工業地帯を持つ都市に集中しており、国の中央より南部ではサン・パウロ州、ミナス・ジェライス州及びリオ・デ・ジャネイロ州、北部、東北部地方ではベルナンブコ州及びバイア州を代表的な生産地帯とする。

国内最大のトマト生産地帯であるサン・パウロ州においては、奥地方における工業原料用トマトの栽培、都市近郊における食卓用トマトの栽培が盛んに行なわれている。州内の工業用トマト栽培地帯としては、ブレデンテ・ブルデンテが州内生産の 33 % を占めるほかアラサツバ 28 %、リベイロン・ブレット 16 % も重要な生産地帯である。この中、ブレシデンテ・ブルデンテ (PRF SIDENTE PRUDENTE) 地方では MARTINO-POLIS, FLORIDA PAULISTA RINÓPOLIS, SANTO ANASTÁCIO 各部、アラサツバ (ARACATUBA) 地方では、ARACATUBA, BIRIUGUI, GURARAPES, CLEMENTINA, PIRACATU、及び LUIZIANIÁ 各部、リベイロン・ブレット (RIBEIRAO PRETO) 地方では MONTE ALTO, ITAPO-LIS, TAQUARITINGA, BORBOREMA GUÍRA、及び TAIACÚ 各部が主要生産地帯である。

これに対し、サン・パウロ州内の食卓用トマトの栽培はサン・パウロ市に近いカンピーナス地方、ソロカバ地方などを生産中心地帯としており、それぞれ州内生産の 43 % 及び 39 % のシェアを占める。上記の中カンピーナス地方では、トマトのモノカルチャーかつ借地農形態が圧倒的に多く、ELIAS FAUSTO, SUMARÉ INDAIATUBA, MONTE MOR, CAMPINAS, MOGI-GUASÚ, CONCHAL 郡を主要産地とする。他方、ソロカバ (SOROCABA) 地方でもっとも主要な郡は APIAI, GUAPIRA, RIBGIRÃO BRANCO や IBIUNA 郡等である。

工業用トマト栽培の大半は工場との契約栽培であるため、植付けは工場側の生産計画に合せて段階的に行なわ

れており、一般に1～6月間に植付け、4～11月間に収穫される。また、この中10%程度は食卓用としても出荷される。

食卓用トマトの場合は、年間を通じた供給が行えない様に植付収穫が行なわれているが、大きく分けて次の2つの生産期に分けられる。カンピーナス地方の場合、収穫は5月に始まり10月に終る。一方ソロカバ地方の場合は、12月に収穫が開始され4月に終る。したがって、供給量の減少は一方の収穫の終りで他方の収穫の始めに発生し価格が上昇する。

表 326 トマト：生産推移 1,000トン

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
サン・パウロ	633	720	796	743	826
ベルナンブコ	150	166	123	129	215
ミナス・ジェライス	113	98	137	132	159
バイヤ	91	77	71	71	95
リオ・デ・ジャネイロ	103	97	91	105	92
その他	375	343	308	315	352
全国計	1,465	1,501	1,526	1,495	1,739

面積 1,000 ha	56	57	50	48	55
-------------	----	----	----	----	----

表 327 トマト：単収推移 kg/ha

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
サン・パウロ	25,635	27,173	34,501	34,127	35,603
ベルナンブコ	22,660	20,869	20,808	20,822	24,960
ミナス・ジェライス	27,728	29,013	34,346	33,360	36,265
バイヤ	17,500	23,983	27,456	25,611	27,912
リオ・デ・ジャネイロ	42,604	38,855	39,252	42,552	38,240

出所：IBGE

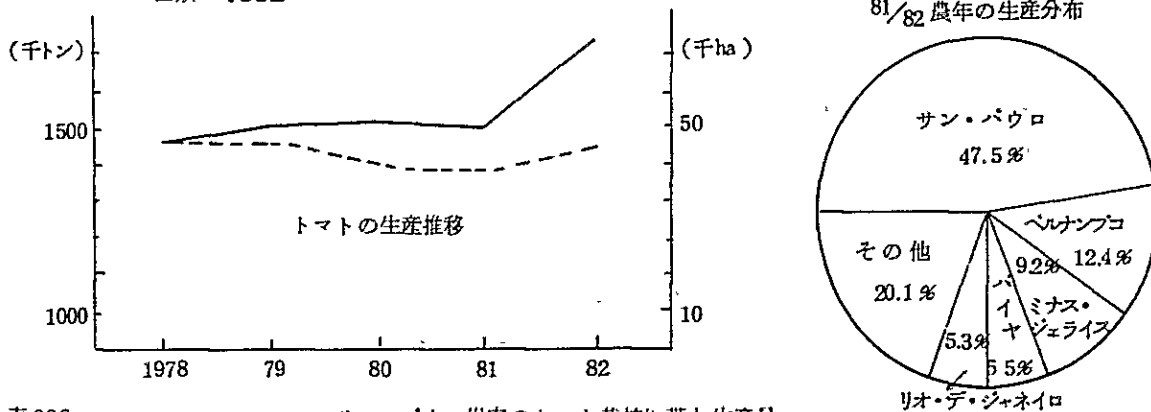


表 328 サン・パウロ州内のトマト栽培地帯と生産量

工業原料用トマト 1,000トン				食卓用トマト 1,000トン			
生産地	1979	1980	1981	生産地	1979	1980	1981
ブレンデンテ・ブルデンテ	126	150	102	カンピーナス	127.1	171.1	145.1
アラサツーバ	114	122	90	ソロカーバ	120.4	131.6	130.5
リベイロン・ブレット	45	50	40	サン・パウロ	27.8	23.3	22.1
バウル	38	35	39	リベイロン・ブレット	15.3	15.1	19.9
サンジョゼ・リオ・ブレット	60	50	32	パレド・パライバ	5.5	4.9	5.0
マリリア	29	38	22	ブレンデンテ・ブルデンテ	2.1	2.9	2.8
カンピーナス	-	5	5	その他	9.9	9.5	5.0
計	412	450	330	計	308.1	358.4	330.4

出所：IEA

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

ブラジルのトマト生産は国内市場への供給を主目的としており、海外市場は現在のところ青果において偶発的に、また加工品のケチャップでは継続的ではあるがごく少量の輸出に止まっている。ブラジルのトマト生産コストが極めて高くつくため、競争のはげしい国際市場への本格的な進出は困難であり、輸出先市場も近隣諸国の一部である。しかし、今後トマトの海外市場開拓を図るため ICM (商品流通税) の免除など、輸出対策が講じられている。

表 329 トマト：生果の輸出実績82年

輸出先国	重量 トン	金額 1,000ドル
ウルグァイ	329.8	127.3
アルゼンチン	215.5	80.9
計	545.3	208.2

出所：CACEX 関税番号 10・07・01・01

表 330 トマト：ケチャップの輸出実績82年

輸出先国	重量 トン	金額 1,000ドル
パラグァイ	1,020.0	1,529.2
プエルト・リコ	1,455.5	1,203.5
その他		
計	1,418.5	4,524.0

出所：CACEX 関税番号 20・02・13・00

ハ) 価 格

工場用トマトの価格については、生産者と工場側のトマト協定 (CONVENIO DE TOMATE) が1976年に締結されて以降、サン・パウロ州アグロインダストリー委員会のあっせんによって、毎年交渉が行なわれるようになった。この制度は、サン・パウロ州条令第9,808号 (18/5/1977) によって正式に明文化されている。

同委員会は生産者団体 (FAESP)、工場側及び公共機関の技師によって構成され、生産者側、工場側の双方の利益に沿った調整を行なうことを目的としている。

同委員会が決定した価格の最近の例としては、1981年度分について次の決定を行なっている。

- 1) 工場側が金利を負担する場合 CR 7.75 /kg
- 2) 生産者側が " CR 9.00 /kg

また、1982年の収穫物に対しては81年12月に開かれた委員会において、②の場合について農場渡し CR 18.00 /kg、工場側が金利を負担する場合は CR 15.50 /kg と定められた。

表 331 トマト：生産者受取価格 CR/kg

月別	1980	1981	1982
1	11.46
2	14.49
3	15.41
4	16.58
5	17.34
6	3.53	7.37	17.51
7	3.65	8.46	17.80
8	3.55	8.26	18.14
9	3.59	9.28	17.95
10	3.58	9.89	19.33
11	3.59	10.55	18.57
12	3.76	10.01	20.16

出所：IEA サン・パウロ州工業原料用トマト

表 332 トマト：生産者受取価格 CR/27kg

月別	1980	1981	1982
1	228.40	578.60	755.60
2	222.10	651.20	932.30
3	220.20	672.60	1,251.80
4	354.80	902.10	1,926.10
5	386.20	792.00	1,076.50
6	284.80	636.80	1,281.10
7	273.60	436.60	1,331.00
8	346.10	605.70	1,717.40
9	419.10	1,157.00	1,879.59
10	425.90	1,082.10	1,658.44
11	505.70	718.40	1,538.94
12	670.30	653.70	2,161.20

出所：IEA サン・パウロ州食卓用トマト

ニ) 生産コスト

サン・パウロ州農務局農業経済研究所が発表した 82/83 農年及び 83/84 農年の生産コスト予想は次表の通りである。

表 333 トマト：生産コスト 1 haあたり 2,350 箱(27 kg入)収穫の場合 サン・パウロ地区

区 分	82/83		83/84		
	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
A. 作業コスト					
a)	日	CR	CR	CR	CR
1) 一般労働力	638.46	1,020.	651,229.	3,255.	1,439,627.
2) トラクター運転手	27.31	1,410.	38,507.	3,250.	84,211.
3) 4輪トラクター	27.31	7,534.	205,752.	19,498.	532,490.
4) 耕 起	3.14	422.	1,324.	1,352.	4,182.
5) 碎 土	2.00	931.	1,863.	2,891.	5,782.
6) 運 搬	4.90	423.	2,070.	1,331.	4,522.
7) 防 除	17.27	1,715.	29,624.	4,118.	71,118.
8) 家 畜	3.50	121.	423.	265.	718.
9) 畝 立	3.50	22.	78.	42.	147.
小 計	—	—	930,870.	—	2,148,898.
B. 資材コスト	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 種 子	300.00 G	8./G	2,460.	14./G	4,320.
2) 石 灰	3.72 T	4,690./T	17,447.	8,756./T	32,572.
3) 配合肥料(4-14-8)	6.00 T	39,333./T	235,998.	103,270./T	619,668.
4) " (" -10)	1.50 T	35,247./T	52,870.	102,263./T	151,395.
5) " (8-12-10)	1.00 T	41,267./T	41,267.	117,405./T	117,405.
6) 有機肥料(鶏糞)	6.00 T	7,150./T	42,900.	12,455./T	77,730.
7) 殺 虫 剤	20.00 kg	1,164./kg	23,290.	2,901./kg	50,020.
8) "	10.00 kg	4,391./kg	43,909.	10,899./kg	100,990.
9) "	10.00 kg	6,850./kg	68,500.	15,329./kg	153,290.
10) "	12.50 kg	1,349./kg	16,869.	3,225./kg	40,208.
11) "	10.00 L	4,428./L	44,278.	9,940./L	99,480.
12) "	6.00 L	4,996./L	29,978.	15,306./L	91,836.
13) "	10.00 L	2,433./L	24,331.	5,550./L	55,500.
14) "	15.00 kg	2,949./kg	44,233.	4,509./kg	47,635.
15) "	4.00 L	2,989./L	11,957.	7,371./L	29,404.
16) "	5.00 L	3,288./L	16,440.	3,079./L	15,395.
17) "	7.14 L	732./L	5,226.	1,572./L	11,224.
18) "	58.45 kg	253./kg	14,817.	616./kg	36,005.
19) "	600.00 U	78./U	46,800.	750./U	450,000.
20) "	15,600.00 U	2./U	33,228.	5./U	76,000.
21) "	2,350.00 CX	240./CX	564,000.	225./CX	528,750.
小 計	—	—	1,380,800.	—	2,820,987.
C. 間接コスト			2,311,670.		4,969,004.
1) 機械償却費			59,187.		133,253.
2) 銀行利息生産費			312,075.		1,453,691.
" 固定投資			15,220.		73,875.
合 計	—	—	2,698,152.	—	6,630,702.

出所：IEA

3.7.3 玉ねぎ

1) 生産

表334

玉ねぎ：81/82農年生産実績

順位	州別	面積 1,000 ha	生産量 1,000 トン	単収 kg/ha	%
1	サン・パウロ	16.2	265.6	15,799	38.2
2	リオ・グランデ・スール	19.7	168.6	8,555	25.2
3	サンタ・カタリーナ	11.4	113.6	9,983	17.0
4	ベルナンブコ	4.6	54.1	11,836	8.1
5	バイア	4.5	46.0	10,232	7.0
6	パラナ	4.2	21.9	5,240	3.3
7	ミナス・ジェライス	1.2	7.4	6,223	1.1
8	セルジッペ	0.1	0.4	5,000	-
	その他	0.6	1.6	2,913	0.2
	全国計	62.3	669.2	10,735	100.0

出所：IBGE

玉ねぎの生産もトマトの場合に似て、国内の大消費市場を控える地帯を生産地としており、中南部地方では、サン・パウロ州、東北地方ではベルナンブコ州を生産の中心地帯としている。トマトの場合とやや異なるのは、トマトに比してより長期の貯蔵を可能とし、輸送に耐える点で南伯3州もサン・パウロやリオ市場に出荷出来る地帯としてその生産シェアは高い。

過去5ケ年の生産推移をみると81/82農年に面積、生産量をやや減少したものの、全体的にゆるやかな生産増加の傾向が継続している。国内の二大生産地帯はサン・パウロ州とリオ・グランデ・ド・スールで、国内生産の60%以上がこの両州で生産されているが、生産増加率からみるとサンタ・カタリーナ州が伸びが高く、過去5ケ年間に143%の高成長を記録しており、今後更に生産の増加を続けるものと予想されている。

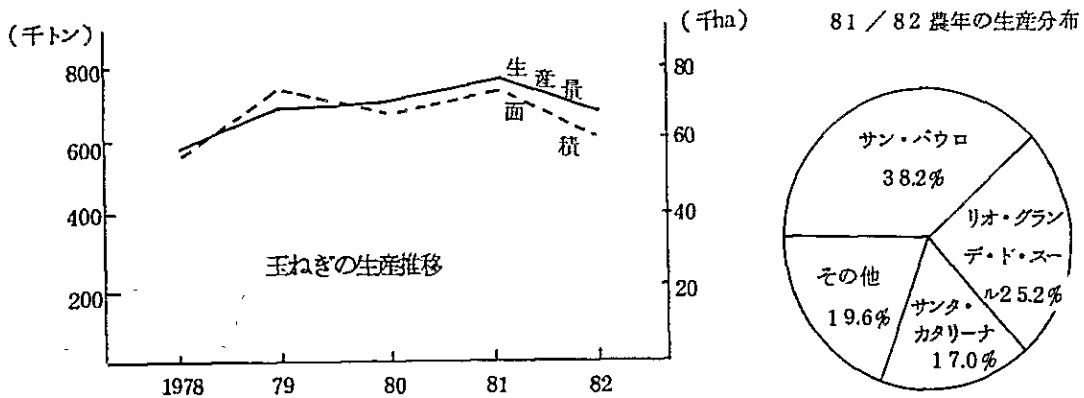


表335

玉ねぎ：生産推移

1,000 kg

州別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
サン・パウロ	225	307	281	283	256
リオ・グランデ・ド・スール	119	151	151	193	169
サンタ・カタリーナ	47	94	104	152	114
その他	97	139	161	149	130
全国計	488	691	697	777	669

面積 1,000 ha	57	74	68	74	62
-------------	----	----	----	----	----

出所：IBGE

表336

玉ねぎ：単収推移

州 別	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82
サン・パウロ	13,876	15,734	15,983	15,527	15,799
リオ・グランデ・ド・スール	5,984	6,697	7,384	8,554	8,555
サンタ・カタリーナ	8,233	8,814	8,459	8,985	9,983

出所：IBGE

ブラジルにおける玉ねぎの栽培は、雨期の12月～3月に収穫される本格収穫と、5～6月に収穫される乾期収穫及び7～11月収穫の3種に分類される。この中、雨期収穫の量がもっとも多く乾期収穫がこれに続いており、雨期収穫はリオ・グランデ・ド・スール州、サンタ・カタリーナ州及びパラナ州の南伯3州、乾期収穫はサン・パウロ州、7～11月収穫は早生種によって行なわれるが、この品種は貯蔵に適しておらず、また年間で価格が低くなる時期に収穫されるものであるため興味のある栽培ではないが、特に生産減少の傾向もみせていない。サン・パウロ州ではカンピーナス及びリベロン・プレト地方、東北地方ではサンフランシスコ川中流地帯をその生産地帯としている。

表337

玉ねぎ：収穫期別生産推移

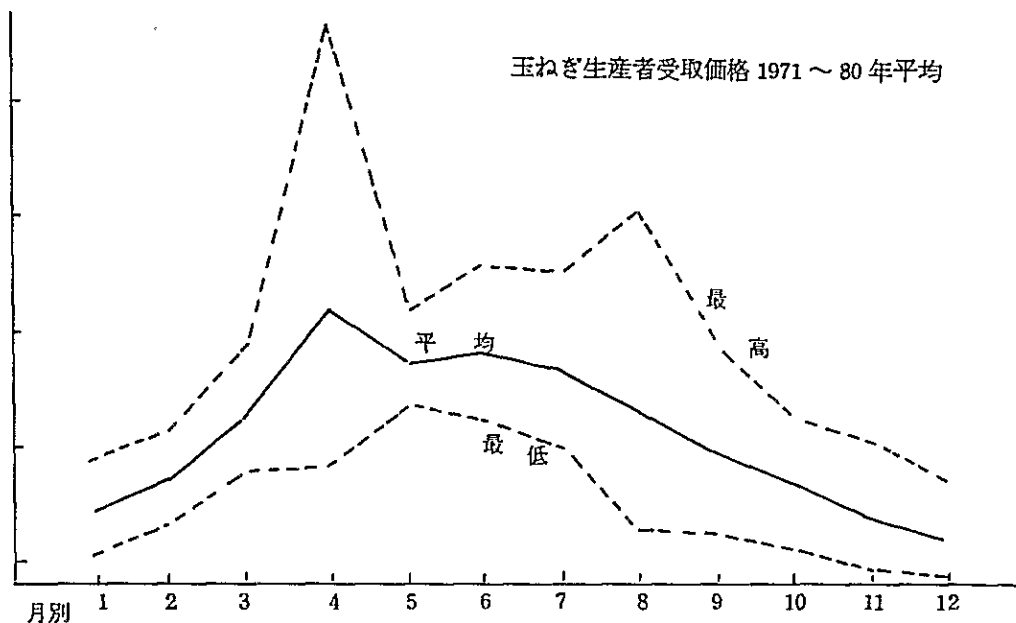
1,000トン

収穫区分及生産地	収穫・販売期	1977	1978	1979	1980	1981	1982
A) 本格収穫(雨期収穫)							
リオ・グランデ・ド・スール	(11月)12～3月(4月)	148.2	118.5	150.7	150.1	197.3	168.3
サンタ・カタリーナ	12～3月	49.8	47.1	104.1	97.2	125.3	113.6
パラナ	12～3月	24.6	16.7	35.7	24.2	24.6	21.9
計		222.6	182.3	290.5	271.5	374.2	303.9
B) SOQUEIRA(乾期)							
サンパウロ州ソロカバ	(4月)5～6月	54.6	80.9	98.8	67.4	77.4	67.8
C) DE MUDA							
早生							
ベルナンブコ	7～9月	70.7	53.4	68.1	87.0	70.7	85.8
サンパウロ州カンピーナス	"	33.0	39.4	46.9	50.2	50.3	50.2
" リベロンプレト	"	10.0	12.0	39.3	48.7	42.0	47.3
計		113.7	104.8	154.3	187.9	163.0	183.3
PIRIFORME							
サンパウロ州ソロカバ	12～11月(12月)	69.0	88.2	112.5	97.9	100.5	79.1
" アラサツバ	"	2.2	3.6	6.7	12.7	7.4	7.8
		71.2	91.8	119.2	110.6	107.9	86.9

出所：IBGE IEA

ロ) 市場及び価格

玉ねぎは農産物の中でもじゃがいもと共に価格の変動がはげしい作物で、場合によって高騰し、時によって生産コストを割る低値が続くことも度々起っている。最近では、長期の貯蔵を可能とする品種が普及してきたため、一時的に供給過剰となって生産物を捨てるような事態はなくなったが、それでも年間の価格変動巾は大きく、端界期の4月前後を頂点とし11～1月を底値とする統計が出ている。



サンパウロ市場への供給は地元のサンパウロ州産品のほか南伯3州の生産物で賄なわれているが、これでも不足する場合はアルゼンチンよりの密輸品が相当量流入している模様である。82年中には特に供給上の問題はなく、生産者の収益も満足すべき状態にあったとみられている。

表 338

玉ねぎ：サン・パウロ州の取引量及価格

月 別	取 引 量 (1,000トン)	価格(実質) CR
1981年		
7	124.7	25.8
8	129.2	30.5
9	134.6	36.6
10	105.7	52.8
11	96.0	78.6
12	123.9	100.2
1982年		
1	128.9	61.5
2	145.0	66.6
3	169.9	70.7
4	138.8	73.8
5	129.1	125.0
6	142.8	115.9

出所：CEAGESP

表 339

玉ねぎ：生産者受取価格 CR/kg

月 別	1980	1981	1892
1	617.50	7.41	28.04
2	648.90	8.77	33.40
3	669.00	10.42	54.01
4	647.10	16.32	164.45
5	911.10	18.13	113.10
6	1,481.60	17.21	89.16
7	26.80	8.70	86.35
8	14.46	8.40	76.83
9	12.59	10.00	76.74
10	7.08	19.67	102.40
11	6.86	34.09	84.02
12	7.38	27.35	65.85

出所：IEA サン・パウロ州の場合

表 340

玉ねぎ：生産コスト 1ha 230 俵(45kg) 収穫の場合 カンピーナス地方

区 分		81/82		82/83	
A. 作業コスト	所要日数	単 価	金 額	単 価	金 額
a)					
1) 一般労働力	79.87	1,055.	84,263.	2,510.	200,474.
2) トラクター運転手	3.08	1,566.	4,832.	3,445.	10,611.
3) 4輪トラクター	3.08	7,534.	23,205.	19,498.	60,054.
4) 耕 起	1.05	422.	443.	1,332.	1,399.
5) 砕 土	0.36	931.	335.	2,891.	1,041.
6) 家 畜	1.25	121.	151.	205.	256.
7) 防 除	3.11	51.	159.	104.	323.
8) 運 搬	1.67	423.	706.	1,331.	2,223.
9) 畝 立	1.25	22.	28	42.	53.
10) か ん が い	2.53	2,879.	7,283.	6,509.	16,468.
小 計	—	—	121,395.	—	292,900.
B. 資材コスト					
	数 量	単 価	金 額	単 価	金 額
1) 石 灰	1.30 T	2,150./ T	2,795.	5,433./ T	7,063.
2) 配合肥料(4-16-8)	1.06 T	39,333./ T	41,693	103,278./ T	109,475.
3) 有機肥料	4.11 T	4,030./ T	16,563.	5,731./ T	23,553.
4) 殺 虫 剤	2.27 L	2,989./ L	6,786.	7,371./ L	16,732.
5) 殺 菌 剤	16.51 KG	1,349./KG	22,280.	3,223./KG	53,212.
6) ポリエチレン酸	230.00 U	108./ U	24,840.	255./ U	58,650.
7) 苗 床	360.00 M ²	134./M ²	48,240.	359./M ²	129,240.
小 計	—	—	163,197.	—	397,926.
C. 間接コスト			284,593		690,826.
1) 機械償却費			11,028.		25,246.
2) 銀行利息生産費			57,630.		303,100.
" 固定投資			2,855.		13,876.
合 計	—	—	356,106.	—	1,033,048.

出所：IEA

3.8 牧畜部門

3.8.1 牛

1) 生 産

ブラジルの牛保有頭数はほぼ人口1人当たり1頭の割で、1980年度に行なわれた農牧センサスの結果によると、全国で117.7百万頭が飼育されており、北部地方3.0%、東北地方18.2%、中西部地方28.2%及び南東南東部地方に57.7%が分布している。州別ではミナス・ジェライス州の保有頭数をもっとも大きく、全国保有数の16.6%にあたる19.5百万頭(1980年センサス)を有し、ゴヤス州が13.6%でこれに続いている。

表341

牛：全国保有頭数

1980年農牧センサス

地方別・州別	総 数		内 乳牛頭数
	1,000頭	%	1,000頭
北部地方			
パラ	2,698.1	2.3	229.3
アマゾナス	350.4	0.3	18.1
ロライマ	313.3	0.3	21.5
アクレ	292.0	0.2	35.1
ロンドニア	248.6	0.2	16.8
アマバ	46.1	0.1	2.8
小計	3,948.4	3.4	368.6
東北地方			
バイア	8,888.1	7.5	1,251.2
アラニオン	2,786.3	2.4	269.5
セアラ	2,349.9	2.0	329.9
ベルナンブコ	1,824.8	1.6	348.5
ピアウイ	1,551.1	1.3	165.3
パライバ	1,296.2	1.1	240.2
セルジッペ	991.0	0.8	221.9
リオ・グランデ・ノルテ	893.5	0.8	160.5
アラゴアス	823.5	0.7	113.5
フェルナンド・ノロンシャ島	0.3	-	-
小計	21,408.8	18.2	3,100.5
中西部地方			
ゴヤス	16,059.2	13.6	2,619.6
マツト・グロッソ・スール	11,857.5	10.1	336.2
マツト・グロッソ	5,216.4	4.1	180.4
ブラジリア	65.8	0.1	12.4
小計	33,199.0	28.2	3,148.6
南東地方			
ミナス・ジェライス	19,504.2	16.6	4,272.1
サン・パウロ	11,665.2	10.9	2,183.3
エスピリト・サント	1,835.0	1.5	395.8
リオ・デ・ジャネイロ	1,736.8	1.5	406.8
小計	34,742.2	29.5	7,258.0
南部地方			
リオ・グランデ・ド・スール	13,968.2	11.8	1,195.4
パラナ	7,875.7	6.7	899.5
サンタ・カタリーナ	2,613.6	2.2	542.3
小計	24,457.5	20.7	2,637.2
全 国 計	117,755.9	100.0	16,512.9

出所：IBGE

牛の保有数に対する屠殺数は外国の場合と比較して極めて低く、約10%である。最近5ヶ年間の牛屠殺数は、次表の通りとなっている。

表342

牛の屠殺数

年 度	屠 殺 数 1,000頭	屠 殺 重 量 1,000トン	内 牝 牛 の 比 率 %	平 均 重 量 kg/1頭
1978	11,283.2	2,309.9	34.5	204.7
79	10,047.7	2,114.2	27.6	210.4
80	9,572.8	2,083.8	23.7	217.7
81	9,955.0	2,115.1	27.2	212.6
82	11,599.0	2,384.9	34.5	205.6

出所：CEPAGRO/CEP

牛肉供給面における1982年度の特長としては、牝牛の屠殺数が増加したことと、年度平均した屠殺が行なわれたため、とくに端境期の現象がなかったことがあげられる。通常、年間の屠殺は上半期に60%、下半期に40%の割合で行なわれ、下半期の供給量が減少するのを適例としているが、82年度の場合この比率は53%、47%で、その差を縮めている。

82年には80年、81年の1千万頭以下の屠殺量を一举に11.6百万頭へと増加させたが、この様な屠殺量の増加は牛肉供給量の増加となって価格の低下を招き、生産者収益を圧迫した。その一例として、肥育牛の価格は屠殺時期の価格が前年同期に比してわずかに59%の増加に止まっているが、この期間のインフレ率が100%近くに達したのを考えると、非常に不利な価格であったといえる。このような価格下降の傾向は端境期にもみられ、実質価格で前年比20%の下落であった。

長期的にみると現在の牧畜サイクルは82年度の価格が下降し、76~77年に達した底値に近づいているところから、やがて屠殺量の減少、価格の回復に向って動き出すものと思われる。

一方82年における牛肉の国内消費量は実質所得の下降にかかわらず4%の増加をみたが、年間を通じて豊富に供給が行なわれたため、小売価格の水準はサフラ時期で15%、端境期で4%の減少であった。

今後の牛肉生産の傾向としては81年の水準(210万トン)に戻る見込みであるが、他方生産が増加する要素としては、次の事項が考えられている。イ) 親牛の保有量が増大している。ロ) 牧牛生産者が資金を獲得するため、一部の保有牛を屠殺販売に廻す。ハ) 消費者価格の極度の上昇は考えられず、消費を抑える要素はない。価格については国内市場のほか外国市場も大きなポテンシャルをみせているため、よりよい価格が維持される見通しが強い。

以上を総括すると、次年度の牛肉生産は81年と82年の生産量の間落ちつくものと予想され、次の需給予想がたてられている。

表343 牛肉：需給予想

項 目	1980	1981	1982	1983
期 首 在 庫	20	70	40	70
生 産 量	2,084	2,115	2,385	2,250
輸 入 量	87	83	22	30
供 給 量	2,191	2,268	2,447	2,350
国 内 消 費 量	1,954	1,945	2,016	1,960
輸 出 量	167	283	361	360
期 末 在 庫	70	40	70	30

出所：CEPAGRO-CACEX/CEP

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

1982年度における世界の牛肉生産は前年とほとんど同水準であり、主要生産国別にはアルゼンチンとEC諸国において若干の減少はあったがオーストラリア、米国及びブラジルの増産によってカバーされた。

1982年度の国際市場における特徴は価格が低かったことで、全井的な要素の減少をその理由としている。世界の貿易もこのため停滞したが、開発途上国向け輸出は増大した。

世界の牧畜サイクルからみると現在の価格水準は1973年に達した線に戻り、高低の期間と於った感である。82年の価格をインフレ率を除外した実質価格でみると76年に達した底値に近いものであり、この不振な市場により1983年には牛肉の生産が下降するとの見通しが強い。

ブラジルの輸出は、冷凍の生肉と加工品のコンビーフの輸出を代表的なものとしており、それぞれ2億ドル前

後の輸出を行なっているため現在では重要輸出項目に数えられている。市場は冷凍生肉においてイラク、イスラエル、英国他西欧諸国、コンビーフの場合は英国の買付が圧倒的に多いほか、米国、イラクも重要な市場である。

表344 牛肉：コンビーフの輸出1982年

輸出先国	重量1,000トン	金額100万ドル
英国	44.3	104.5
米国	16.5	39.5
イラク	6.6	15.3
カナダ	2.7	6.4
プエルトリコ	2.5	5.8
ジャマイカ	2.4	5.5
エジプト	2.3	4.6
ソージ・アラビア	1.7	3.7
ナイジェリア	1.8	3.8
オランダ	1.2	2.6
その他	6.7	15.3
計	88.7	207.0

出所：CACEX 関税番号16-02-01-01

表345 牛肉：冷凍生肉の輸出1982年

輸出先国	重量1,000トン	金額100万ドル
イラク	20.8	41.2
イスラエル	14.8	28.2
英国	8.7	20.1
西独	8.2	16.1
オランダ	7.3	15.9
イタリア	6.9	13.9
スペイン	5.5	13.1
ギリシャ	4.0	6.8
スイス	2.7	4.3
ベルギー	2.2	3.2
その他	8.0	17.2
計	89.1	179.5

出所：CACEX 関税番号02-01-01-04

ハ) 価格

表346 牛：放牧牛生産者受取価格 CR/頭

月別	1980	1981	1982
1	11,261.10	16,621.20	20,681.20
2	11,384.00	16,667.30	20,873.00
3	11,664.30	16,787.90	20,890.20
4	12,318.60	16,620.20	21,577.90
5	12,624.60	16,717.30	23,374.90
6	13,345.20	16,646.90	24,245.30
7	14,384.70	16,553.90	28,275.30
8	14,675.20	17,256.70	30,012.70
9	14,834.50	17,750.00	37,124.68
10	16,096.70	18,812.80	36,878.34
11	16,701.80	19,973.80	34,195.50
12	16,471.00	20,580.40	35,201.40

出所：IEA サン・パウロ州平均

表347 牛：種牛・生産者受取価格 CR/頭

月別	1980	1981	1982
1	20,919.40	33,840.20	46,005.80
2	20,970.70	33,571.70	46,492.10
3	21,695.60	33,752.90	47,316.50
4	23,088.90	33,971.20	49,891.30
5	24,149.00	35,497.70	52,391.30
6	24,859.10	35,877.40	64,098.30
7	25,934.30	36,877.20	65,297.20
8	26,678.30	37,273.80	69,109.20
9	29,280.90	40,891.70	71,395.02
10	31,097.90	43,049.90	74,963.53
11	33,192.90	45,512.00	77,505.12
12	32,190.10	46,217.10	78,254.70

出所：IEA サン・パウロ州平均

表348 牛：肥育牛生産者受取価格 CR/15kg

月別	1980	1981	1982
1	1,091.40	1,669.60	2,489.70
2	1,051.70	1,653.60	2,394.00
3	1,039.80	1,654.70	2,378.70
4	1,068.60	1,658.70	2,444.80
5	1,105.50	1,875.90	2,621.30
6	1,134.80	1,607.30	2,758.70
7	1,249.60	1,691.10	3,645.80
8	1,377.30	1,842.80	3,876.50
9	1,424.50	2,181.90	4,056.99
10	1,695.10	2,393.20	4,052.70
11	1,737.30	2,560.60	4,068.88
12	1,650.90	2,517.90	4,107.10

出所：IEA サン・パウロ州平均

表349 牛：牛肉の小売価格 CR/kg

月別	1980	1981	1982
1	117.57	196.51	313.30
2	113.73	197.44	321.40
3	112.98	201.31	321.05
4	116.10	203.41	336.00
5	120.95	205.94	338.25
6	124.92	203.88	373.70
7	146.34	221.61	477.70
8	151.22	243.51	504.00
9	159.54	266.52	532.00
10	177.89	283.86	549.35
11	173.42	289.82	557.30
12	175.70	300.39	572.30

出所：IEA サン・パウロ州平均

3.8.2 鶏

食肉用鶏の国内生産は養鶏業界が見舞われている最近の低収益にかかわらず、前年を7.6%増加した1,578千トンであった。このような状況は、とくに奥地方で生産プロセスの統合化がすすんでいるためであるが、このような増産のため供給量はさらに増加し、養鶏収益はますます悪化している。

養鶏収益については1982年は81年よりも好転したといわれているが、このことは81年度が極度の低収益であったことを示すものであり、中小養鶏場の閉鎖が目立っている。また81年の最悪の状況下で親鶏の飼育数が減少しており、食用鶏の生産能力を落している。生産能力の低下を示す正確な統計はないが、ヒナの生産能力は82年に入って極度に落ちたものと推定されている。

他方、生産資材については1982年中、配合飼料の原材料は為替レートの下落率を上回る輸入品価格の上昇があったほかは低い値上り率に落ちついた。とくに、とうもろこし価格が低値であったため飼料価格が大きな圧力となって収益を落す傾向はみられなかった。

鶏肉の国内需要については前年に引き続く停滞がみられ、消費量約9%の増加は小売価格(実質)の16%減少によって支えられた形となっている。

70年代の中期より飛躍的に増加を続けてきたブロイラーの輸出は、81年の354.3百万ドルを頂点として、82年には285.5百万ドルへと落ちた。輸出重量では前年を上回っていたが、輸・出平均価格の下落により輸出金額を表わしたものである。輸出先市場は前年と同様に中東諸国を主体とするほか、82年にはソ連の買付けが大きく輸出量、金額ともにイラク、サウジアラビアに次ぐ3位にあるのが注目される。

表 350 ブロイラーの輸出推移

重量 1,000トン					金額 100万ドル				
1978	79	80	81	82	1978	79	80	81	82
50.8	81.1	168.7	293.9	301.8	46.9	81.1	206.7	354.3	285.5

出所：CACEX

表 351 ブロイラーの輸出 1982年

輸出先国	重量1,000トン	金額100万ドル
イラク	115.3	106.8
ソウジ・アラビア	79.9	75.8
ソ連	36.6	38.8
エジプト	34.2	26.7
クエイト	14.8	14.5
その他	21.0	22.9
計	301.8	285.5

出所：CACEX 関税番号02・02・01・02

3.9. 林 業

表352

地方及州別，木材，木炭及び薪の生産量（造成林）

単位：1,000m³

州 別	木 材（丸太）			木 炭			薪		
	1978	79	80	1978	79	80	1978	79	80
北 部	—	(572)	(1,390)	—	—	—	—	—	—
パ ラ	—	572	1,390	—	—	—	—	—	—
東 北 部	(89)	(144)	(251)	—	—	(6)	(68)	(34)	(367)
セ ア ラ	41	78	115	—	—	—	37	33	60
バ ラ イ バ	—	—	1	—	—	—	—	—	1
ベ ル ナ ン プ コ	48	66	106	—	—	—	29	—	257
ア ラ ゴ ア ス	—	—	25	—	—	—	—	—	—
セ ル ジ ッ ベ	—	—	—	—	—	—	—	1	—
バ イ ヤ	—	—	4	—	—	6	2	—	58
南 東 部	(21,760)	(25,521)	(27,857)	(363)	(485)	(649)	(19,588)	(19,984)	(18,421)
ミナス・ジェライス	1,051	1,437	1,514	264	318	469	2,941	3,085	3,865
エスピリト・サント	572	2,049	2,293	—	50	58	1	373	167
リオ・デ・ジャネイロ	194	154	189	—	1	1	165	245	194
サン・パウロ	19,943	21,880	23,861	100	116	120	16,480	16,281	14,196
南 部	(11,455)	(18)	(12,317)	(5)	(5)	(15)	(14,730)	(15,676)	(11,830)
パ ラ ナ	4,501	2,861	4,191	—	—	1	1,920	1,721	1,956
サンタ・カタリーナ	2,205	2,381	3,182	—	—	—	485	343	370
リオ・グランデ・ド・スール	4,748	13,219	4,944	5	5	14	12,324	13,612	9,604
中 西 部	(7)	(6)	(11)	—	—	—	(26)	(278)	(342)
マッド・グロソッソ・ド・スール	—	—	—	—	—	—	15	—	—
ゴ ヤ ス	7	6	11	—	—	—	11	278	342
計	33,311	44,705	41,827	329	491	670	34,412	35,972	30,961

出所：IBGE

表 353-

主要木材の輸出実績 (1982年度)

関税番号	商品名	輸出先国	重量 トン	容積 m ³	FOB 金額 1,000ドル
44・05	角材				
44・05・01・01	ビーニヨ松材	アルゼンチン	19,231	31.0	10,003.1
		英 国	8,488	14.0	4,843.4
		ウルグアイ	6,617	10.1	3,592.0
		その他	2,297	3.9	1,298.5
		計	36,633	59.0	19,737.0
" 99-01	ビードロ(西洋杉)	コロンビア	372	0.7	223.2
		スペイン	192	0.2	83.5
		トリニダード	273	2.9	74.2
		その他	189	0.4	75.1
		計	1,026	4.2	456.0
" 99-02	インブイア材	南アフリカ	2,561	2.5	1,418.4
		その他	337	0.4	102.4
		計	2,898	2.9	1,520.8
" 99-03	ジャカラランダ材	西 独	189	0.1	113.2
		日 本	20	-	34.7
		その他	19	0.1	31.0
		計	228	0.2	178.9
" 99-04	ペローバ材	ベネズエラ	120	0.1	33.0
		その他	1	-	0.9
		計	121	0.1	33.9
" 99-05	スタビーラ材	ボルトガル	9,344	9.0	2,371.4
		イタリア	1,158	1.1	267.2
		その他	175	0.2	44.7
		計	10,677	10.3	2,683.3
" 99-06	ピローラ材	米 国	6,059	8.4	1,011.1
		英 国	685	1.1	197.9
		その他	1,205	1.8	278.0
		計	7,949	11.3	1,487.0
" 99-07	アグマーノ材	英 国	11,152	14.3	5,527.9
		米 国	8,446	10.8	3,114.1
		西 独	3,533	4.3	1,457.4
		その他	9,954	12.6	3,679.5
		計	33,085	42.0	13,778.9
" 99-99	その他の材木	ベネズエラ	27,265	28.2	4,158.5
		米 国	2,565	3.1	725.8
		西 独	922	1.0	516.6
		ボルトガル	1,920	2.1	424.1
		その他	6,053	7.2	1,722.9
		計	38,725	41.6	7,547.9
44・05	計		131,618	171.6	47,524.9
44・07・00・00	鉄道用枕木	イタリア	4,574	4.2	583.7
		ジャマイカ	1,825	1.8	187.5
		その他	11	-	1.8
		計	6,410	6.0	733.0
44・09	杭・アーチ・金具の柄・その他	計	11		4.6

関税番号	商品名	輸出先国	重量 トン	容 積 m ³	金額 FOB 1,000ドル
44-11-01-00	額 緑 他 加 工 品	米 国	59,649	60.5	15,265.9
		ナイジェリア	34,234	34.1	6,733.1
		オランダ	22,158	22.1	3,926.1
		英 国	10,730	10.6	2,698.9
		西 独	13,246	13.1	2,550.7
		ベルギー	4,469	4.3	2,071.1
		そ の 他	37,097	38.3	9,726.1
	計		181.583	183.0	42,971.9
44-13	床 材 他				
44-13-01-01	床 材	英 国	181	0.3	106.4
		西 独	39	0.1	21.7
		計	220	0.4	128.1
" 01-99	床 材 各 種	英 国	23,006	38.2	13,246.5
		アイルランド	2,913	5.0	1,655.3
		米 国	2,245	4.0	1,683.3
		そ の 他	2,284	4.0	1,269.9
		計	30,448	51.2	17,855.0
" 02-99	"	英 国	47,710	61.8	26,030.2
		米 国	7,155	9.2	19,530.5
		南アフリカ連邦	10,268	10.6	5,449.1
		アイルランド	6,333	7.7	3,458.2
		そ の 他	109,373	146.7	19,053.6
	計	180,839	236.0	73,521.6	
44-13	計		211,560	287.6	91,557.2
44-14	板材 厚さ 5 mm 以下				
44-14-01-00	ビ ニ ョ 松 材	ウルグアイ	624	1.0	338.7
		アルゼンチン	324	0.5	119.2
		そ の 他	94.8	0.1	102.9
		計	1,042.8	1.6	560.8
" 02-00	セ ー ド ロ 材	西 独	159	0.3	138.9
		スエーデン	15	0.1	21.1
		そ の 他	19	-	20.6
		計	193	0.4	180.6
" 03-00	イ ン プ イ ア 材	南アフリカ	1,165	1.6	1,697.9
		英 国	33	-	54.5
		そ の 他	15	0.1	48.5
		計	1,213	1.7	1,800.9
" 04-00	ジャカラランダ材	西 独	30.5	0.1	597.6
		日 本	140	-	208.7
		デンマーク	87	-	145.6
		そ の 他	15.2	-	38.2
		計	68.4	0.1	990.1
" 05-00	ビ ロ ラ 材	ベネズエラ	944.7	2.4	635.5
		米 国	1,166.4	2.1	390.9
		イスラエル	473.0	1.1	162.6
		そ の 他	73.7	0.2	59.6
		計	2,657.8	5.8	1,268.6

関税番号	商品名	輸出先国	重量 トン	容量 m ³	金額 1,000ドル ^{FOB}
44・14・06・00	ア グ ア ノ 材	米 国	1,029.8	1.7	1,742.8
		ベネズエラ	380.5	0.6	653.4
		アルゼンチン	608.7	1.1	785.0
		西 独	213.0	0.3	433.0
		そ の 他	587.6	0.9	1,344.5
	計	2,819.6	4.6	4,958.7	
" 07・00	カ ル バ ー リ ャ 材	西 独	3,475.8	5.0	5,613.4
		そ の 他	366.4	0.6	687.2
		計	3,842.2	5.6	6,300.6
44・14	計		35,193.0	62,308	29,360.0
44・15	合 板 類				
44・15・01・00	合 板	プエルト・リコ	12,691.1	24.5	7,426.2
		英 国	7,010.0	13.8	4,840.9
		ナイジェリア	4,001.0	6.8	2,095.5
		バルバドス	2,518.3	5.2	1,559.0
		ベネズエラ	2,035.4	3.6	1,512.6
		トリニダード	2,176.0	4.5	1,435.5
		そ の 他	11,119.6	21.2	7,208.8
	計	41,551.6	79.6	26,078.5	
" 99・00	合 板 各 種		11,258.3	17.5	6,263.8
44・15	計		52,809.9	97.1	32,342.3
	木材部門合計		658,660.6	847,372	274,299.9

出所：CACEX

参 考 資 料

LEVANTAMENTO SISTEMÁTICO DA PRODUÇÃO AGROPECUÁRIA	ブラジル地理統計院
ANUÁRIO ESTATÍSTICO DO BRASIL	"
RELATÓRIO ANUAL DA CEP 1982	生産融資公社
CARTA DE CEP	"
POLÍTICA DE GARANTIA DE PREÇOS MINIMOS	"
PROGNOSTICO 82/83	サン・パウロ州農務局
INFORMAÇÃO ECONÔMICA	"
CONJUNTURA ECONÔMICA	ゼッソリオ・ヴァルガス経済研究所
AGROANALYSIS	"
COMERCIO EXTERIOR 1982 (貿易統計)	CACEX
GAZETA MERCANTIL	ガゼッタ・メルカンチル紙
O ESTADO DE SÃO PAULO	オ・エスタード・デ・サン・パウロ紙
SUMA AGRÍCOLA (週間農業情報)	タマ・エント・ラ社

1983年3月

報告書作成

SIN PROMOÇÃO E MARKETING LTDA

RUA DR CINTRA GORDINHO 117 CEP 05083

SÃO PAULO-BRASIL

